

◆ 1 ～ ◆ 2 四字熟語意味

甕裡[醢鷄]・[藜杖]韋帶 銅駝[荊棘]・門巷[填隘]	見識が狭く世間知らずの人のたとえ。	けいけい
[伯兪]泣杖・[藜杖]韋帶 門巷[填隘]・黄衣[廩食]	きわめて質素なこと。	れいじょう
甕裡[醢鷄]・[笙磬]同音 関関[睢鳩]・[鳧趨]雀躍	全身で喜びをあらわす。	ふすう
[藜杖]韋帶・門巷[填隘] 銅駝[荊棘]・[伯兪]泣杖	国の滅亡を嘆くたとえ。	けいきよく
[銅牆]鉄壁・関関[睢鳩] [鳧趨]雀躍・昏定[晨省]	夫婦仲が非常に良いこと。	しよきゅう
牝牡[驪黄]・[荊棘]叢裏 [薏苡]明珠・[以蠡]測海	外見よりも本性を見るべきである。	りこう
子墨[兔毫]・[史籀]大篆 四六[駢儷]・筆力[扛鼎]	漢字の一書体が作られた故事。	しちゅう
[史籀]大篆・荊釵[布裙] 黄衣[廩食]・高牙[大纛]	高位・高官のしるし。	たいとう だいとう
[唇亡]齒寒・荒瘠[斥鹵] [銷鑠]縮栗・[飲鳩]止渴	意気が削がれ恐怖で体がすくむ。	しょうしゃく
泉石[膏肓]・縞衣[綦巾] 荊釵[布裙]・牝牡[驪黄]	粗末な服装のたとえ。	ふくん
[断齋]画粥・嫗伏[孕鸞] [棣華]増映・陶朱[猗頓]	大金持ち。	いどん
[牛溲]馬勃・瓶墜[簪折] [醢鷄]甕裡・無根[無蒂]	無用なもの、つまらないもの。	ぎゅうしゅう ぎゅうそう
歧行[喙息]・万物[殷富] [円顛]方趾・[跛立]箕坐	生きものを表す提喩。	かいそく

[蓴羹]鱸膾・華亭[鶴唳] 吹毛[求疵]・嫗伏[孕鬻]	鳥や獣が子を産み育てること。	よういく
竜頭[鷓首]・陶朱[猗頓] [断齋]画粥・[蓴羹]鱸膾	故郷を懐かしく思う情。	じゅんこう
鳳凰[銜書]・鼓舌[揺唇] 渾崙[吞棗]・[孔翊]絶書	丸のみにして味得しない。	どんそう
南橘[北枳]・洪範[九疇] [和羹]塩梅・[孔翊]絶書	政治に私情を差し挟まないこと。	こうよく
跛行[喙息]・鳳凰[銜書] 金枝[花萼]・鑿齒[尺牘]	天子の使者が勅状を携える。	がんしょ
鳳凰[銜書]・南橘[北枳] [巫雲]蜀雨・金枝[花萼]	遠く離れた夫婦が思い合う。	ふうん
[兢兢]業業・[封豕]長蛇 [背裂]髮指・桃弧[棘矢]	強欲で残酷な人。	ほうし
喋喋[喃喃]・[蹈節]死義 南蛮[馱舌]・[倚馬]七紙	耳障りで意味不明のことば。	げきぜつ
[輪奐]一新・重熙[累洽] [璞玉]渾金・[竹苞]松茂	天然の美質をいう。	はくぎよく
[北轅]適楚・[篳路]藍縷 [俛首]帖耳・傾側[偃仰]	苦境に耐えて事業を起こすたとえ。	ひつろ
[文恬]武嬉・一箭[双雕] 干戚[羽旄]・[三槐]九棘	文武二様の舞。	うぼう
優柔[厭飮]・[俛首]帖耳 [咄嗟]叱咤・[躡足]附耳	それとなく相手に注意する。	じょうそく
[噬指]棄薪・[衍曼]流爛 雲雨[巫山]・[和羹]塩梅	男女の情交。	ふざん
孤独[鰥寡]・無余[涅槃] 優游[涵泳]・浮家[泛宅]	一所不在の境涯。	ほんたく

束髮[封帛]・[和羹]塩梅 [笙磬]同音・心広[体胖]	互いの心が和すること。	しょうけい
[伊尹]負鼎・[鼎鑪]玉石 筆力[扛鼎]・大名[鼎鼎]	大望のために身を落とす。	いいん
一箭[双雕]・[三疊]三浴 衆賢[茅茹]・[廷諍]面折	賢人たちが相伴って朝廷に出る。	ぼうじょ
[白茶]赤火・銘肌[鏤骨] [落穿]下石・崎嶇[坎軻]	苦しむ者を更に苦しめる。	らくせい
吳牛[喘月]・[馮異]大樹 曠日[弥久]・厭聞[飡聽]	長い時を無駄に過ごす。	びきゅう
竹頭[木屑]・頭童[齒豁] [井渫]不食・[束皙]竹簡	老人のこと。	しかつ
[束皙]竹簡・[緇林]杏壇 輕妙[洒脱]・[麤枝]大葉	比類ない碩学をいう。	そくせき
崎嶇[坎軻]・[影駭]響震 [攀轅]臥轍・雷陳[膠漆]	地方官の退任を惜しむ民情。	はんえん
万寿[無疆]・日月[逾邁] [布韞]青鞋・白髮[青衫]	遅くに官を得ること。また、無位の者。	せいしん
蛙鳴[蟬噪]・韓信[匍匐] [跣狗]吠堯・狐裘[羔袖]	庇護者に盲目的に忠実である。	せきく
[白茶]赤火・稻麻[竹葦] [狐裘]蒙戎・[紆余]委蛇	軍勢の盛んに展開するさま。	はくと
一縷[千鈞]・秋風[索寞] 万寿[無疆]・一望[無垠]	はてしなく広いこと。	むぎん
[布韞]青鞋・抱関[擊柝] [一裘]一葛・[羊裘]垂釣	旅の出で立ち。	ふべつ
物論[囁囁]・無根[無蒂] 蛙鳴[蟬噪]・談天[雕竜]	議論や文章が煩わしく拙いこと。	せんそう

南蛮[馱舌]・邪智[奸佞] [媚眼]秋波・[阿諛]追従	お世辞を連ねて人に取り入る。	あゆ
[山藪]蔵疾・[朦朧]模糊 煮豆[燃萁]・衣錦[尚絅]	美德や功労をわざわざ誇示しない。	しょうけい
豺狼[当路]・攀竜[附驥] 彩鳳[随鴉]・為虎[傅翼]	元々強い者が、一層強くなること。	ふよく
昏定[晨省]・画竜[点睛] 一气[呵成]・倍日[并行]	仕事をひと息にやり遂げること。	かせい
一髮[千鈞]・[一蹶]不振 [魚爛]土崩・[亢竜]有悔	失敗をして再起不能となるたとえ。	いっけつ
摩頂[放踵]・[狂瀾]怒濤 [倚馬]七紙・[一瀉]千里	達弁のたとえ。	いっしゃ
鳳凰[銜書]・夜雨[对牀] [琴碁]書画・[韋編]三絶	読書や学問に熱心なたとえ。	いへん
[慤懃]無礼・繁文[縟礼] 跼天[踳地]・尽歛[竭忠]	表向き丁寧で実は尊大であること。	いんぎん
[黝堊]丹漆・因循[苟且] 古人[糟粕]・融通[無礙]	旧慣に固執しその場しのぎをする。	こうしょ
恍恍[忽忽]・[烏焉]魯魚 咬文[嚼字]・一筆[勾銷]	文字の書き誤り。	うえん
魯魚[亥豕]・[夏鑪]冬扇 烏兔[匆匆]・[禹行]舜趨	文字の書き誤り。	がいし
管窺[蠡測]・[孔翊]絶書 [渾渾]沌沌・[三豕]涉河	文字を間違えること。	さんし
[禹行]舜趨・[殷鑑]不遠 [三豕]涉河・[禹湯]文武	本質を考えず聖人の猿真似をする。	うこう
左提[右挈]・右顧[左眄] [鄒衍]降霜・傾側[偃仰]	情勢を気にして決断できないこと。	さべん

厭聞[飡聽]・[魯魚]陶陰 [史籀]大篆・[郢書]燕說	こじつけること。	えいしょ
[偏袒]搯腕・雲遊[萍寄] [伊尹]負鼎・[依怙]最屬	自分の好きな方にだけ肩入れする。	えこ
[燕頤]虎頸・攀竜[附驥] [鷓目]虎吻・長頸[烏喙]	高位高官となるべき貴人の人相。	えんがん
筆力[扛鼎]・折花[攀柳] [燕頤]投筆・干戚[羽旄]	文筆を辞し、武道を志す。	えんがん
延頸[拳踵]・[瞻望]咨嗟 [枉駕]來臨・[枕戈]待旦	人の來訪などを待ちこがれる。	きょしょう
神韻[縹渺]・[偃武]修文 [枕戈]待旦・[漂蕩]奔逸	世の中が平穩無事である。	えんぶ
蚊子[咬牛]・非難[聾聾] [敲金]擊石・[嘔啞]嘲哂	聞き苦しい雑音。喧しい子供の声。	おうあ
延頸[拳踵]・合歡[綢繆] 宝鈿[玉釵]・[枉駕]來臨	人の來訪を尊んで言う表現。	おうが
[慝懃]無礼・頑迷[固陋] 三面[六臂]・横行[闊歩]	傍若無人に振る舞うこと。	かつぼ
宵衣[旰食]・[温清]定省 [婉娩]聽從・鑿窓[啓牖]	人の子は須らく両親に仕えるべし。	おんせい
蛙鳴[蟬噪]・[海闊]天空 博引[旁証]・海市[蜃樓]	非現実的な考えや、架空の理論。	しんろう
海底[撈月]・[毫釐]千里 [躬行]実践・河山[帶厲]	実現不可能なことに労力を費やす。	ろうげつ
[傀儡]政權・瓊枝[梅檀] [槐門]棘路・張王[李趙]	政界の最高幹部のこと。	かいもん
[偕老]同穴・煮豆[燃萁] [珠聯]璧合・桃傷[李仆]	夫婦の信賴關係が極めて堅いこと。	かいろう

王楊[盧駱]・[槿花]一朝 低唱[淺斟]・[薤露]蒿里	葬送のときにうたう挽歌。	かいろ
[依怙]最屬・按図[索驥] [苛斂]誅求・鶴立[企佇]	心から待ち望むこと。	きちよ
苦心[慘憺]・[呵呵]大笑 隔靴[搔痒]・風声[鶴唳]	思い通りにならず、もどかしい。	そうよう
[豁然]大悟・[杞人]天憂 天門[開闔]・融通[無礙]	はたと迷妄を断ち切り解脱する。	かつぜん
流金[鑠石]・[敝帚]千金 [苛斂]誅求・[阿諛]傾奪	租税などを厳酷に取り立てる。	かれん
肩摩[鞞擊]・侃侃[諤諤] 日月[逾邁]・[艱難]辛苦	はばかりことなく大いに議論する。	がくがく
危言[覈論]・[迦陵]頻伽 物議[洶然]・[帷幄]上奏	自論を主張して激しく議論する。	かくろん
[明眸]皓齒・秋風[凜冽] 叡明[豁達]・[旗幟]鮮明	主義主張や態度が明確である。	きし
[鞠躬]尽瘁・大海[撈針] 国歩[艱難]・被髮[左衽]	心身を労して国事に尽くすこと。	きつきゅう
重熙[累洽]・搖頭[擺尾] 阿諛[便佞]・[翼覆]嫗煦	慈しみかわいがる。	よくふ
重熙[累洽]・延頸[挙踵] 鑿齒[尺牘]・[翼覆]嫗煦	英明の天子続き現れ恵沢弥増す。	るいこう
搖頭[擺尾]・延頸[挙踵] [羊很]狼貪・[翼覆]嫗煦	気に入られようとして諂う。	はいび
搖頭[擺尾]・延頸[挙踵] [羊很]狼貪・[墜茵]落溷	粗暴で胴欲なこと。	ようこん
[孔翊]絶書・延頸[挙踵] 鑿齒[尺牘]・[墜茵]落溷	人には運不運がある。	ついいん

[飲鳩]止渴・朮羹[艾酒] [鼎鑪]玉石・[藜杖]韋帶	今現在のことしか考えない。	いんちん
[越俎]代庖・泉石[膏肓] [藜杖]韋帶・[薏苡]明珠	濡れ衣を着せられる。	よくい
蓴羹[鱸膾]・朮羹[艾酒] 漿酒[霍肉]・[藜杖]韋帶	端午の節句の祝儀に用いる。	がいしゅ
[六韜]三略・典謨[訓誥] 洪範[九疇]・[五蘊]皆空	聖人の教えをいう。	くんこう
発揚[蹈厲]・剽疾[輕悍] 獅子[搏兔]・[訥言]敏行	敏捷で勇猛なこと。	けいかん
[枉尺]直尋・斬釘[截鉄] [翦草]除根・[朝齋]暮塩	問題を大本から解決する。	せんそう
緩歌[縵舞]・[行尸]走肉 [鳧趨]雀躍・発揚[蹈厲]	体を激しく動かして踊る。	どうれい
[潑墨]淋漓・[孔翊]絶書 [緇林]杏壇・[鄒魯]遺風	儒学の正統を言う。	すうろ
冒雨[剪韭]・[一饋]十起 [朝齋]暮塩・[簇酒]斂衣	友人への心尽くしのもてなし。	せんきゅう
[枕戈]待旦・河清[難俟] [井渫]不食・鶴立[企佇]	いつまで経っても実現が望めない。	なんし
造次[顛沛]・一糸[一毫] [一嘖]一笑・[蹉跎]歲月	ごくわずかな時間。	てんぱい
馬鹿[愍勲]・繁文[縟礼] 千荊[万棘]・[袒裼]裸裎	無礼千万。	たんせき
[縷縷]綿綿・繁文[縟礼] 彫虫[篆刻]・[麤枝]大葉	規則や礼式が細かく面倒なこと。	じょくれい
[金縷]玉衣・[霓裳]羽衣 [敝衣]蓬髮・衣錦[尚綱]	天人や仙女などの着る美しい衣。	げいしょう

率先[躬行]・意匠[慘澹] [緊禪]一番・櫛風[沐雨]	多難に晒されながらも勤めに励む。	もくう
切齒[扼腕]・劍拔[弩張] 焦頭[爛額]・煮豆[燃萁]	憤りを抑えられず、熱り立つ様子。	やくわん
一望[無垠]・華亭[鶴唳] [瞻望]咨嗟・[一倡]三歎	殿上人などを敬慕して感嘆する。	せんぼう
[騰蛟]起鳳・波詭[雲譎] 暴虎[馮河]・[魑魅]魍魎	私利私欲のために画策する悪徒。	ちみ
騎驢[覓驢]・爬羅[剔抉] 暴虎[馮河]・[洒洒]落落	血気に逸った無鉄砲な行為。	ひょうが
百花[繚乱]・瓶墜[簪折] 失魂[落魄]・[蘭摧]玉折	名士佳人などの死をいう。	らんさい
頑廉[懦立]・牛驥[同皁] [騏驎]過隙・老驥[伏櫪]	老境に入っても大志を失わない。	ふくれき
[揣摩]臆測・管窺[蠡測] 頑迷[固陋]・麻姑[搔痒]	独り決めの当て推量。	しま すいま
泉石[膏肓]・神韻[縹渺] 風光[明媚]・[嘯風]弄月	自然の風景や風流韻事をたしなむ。	しょうふう
自由[闊達]・跳梁[跋扈] [磊磊]落落・[跣狗]吠堯	賊徒どもがのさばり、はびこる。	ばっこ
桃李[成蹊]・[瓊枝]梅檀 [鸞翔]鳳集・衆賢[茅茹]	有徳の人物には自然と人が集まる。	せいけい
附贅[懸疣]・[酒甕]飯囊 宴安[酖毒]・肉山[脯林]	豪華な宴会のたとえ。	ほりん
風声[鶴唳]・[驢鳴]犬吠 [唇亡]齒寒・朱唇[皓齒]	おじけだって些細なことでも驚く。	かくれい
[恐惶]謹言・搖頭[擺尾] 跼天[踳地]・侃侃[諤諤]	世間に気兼ねして生活する。	せきち



曲突[徙薪]・冒雨[剪韭] [深厲]淺揭・[撥乱]反正	災いを未発に防ぐたとえ。	ししん
[竜攘]虎搏・切齒[扼腕] 乾端[坤倪]・[緊禪]一番	大いに決心して物事に当たる。	きんこん
局天[躋地]・[跛立]箕坐 [祇管]打坐・結跏[趺坐]	座禅をする時の正しい姿勢をいう。	ふざ
豪放[磊落]・飛揚[跋扈] 剛毅[木訥]・頭童[齒豁]	気さくで、小さな事に執着しない。	らいらく
[衍曼]流爛・槐門[棘路] [狡兔]三窟・[豺狼]当路	奸臣が国政の枢軸を握っている。	さいろう
余韻[嫋嫋]・瑣碎[細膩] [濯纓]濯足・[膾炙]人口	心遣いが隅々まで行き届いている。	さいじ
[尸位]素餐・売官[鬻爵] 白髮[青衫]・[侈衣]美食	職責を果たさず徒に俸給を貰う。	しい
翼覆[嫗煦]・[温清]定省 生氣[潑瀾]・春風[駘蕩]	安穩のさまや、温順な人柄をいう。	たいとう
[井渫]不食・玉石[混淆] [攀轅]臥轍・顛委[勢峻]	傑物が登用されないたとえ。	せいせつ
烈士[徇名]・[蒼蠅]驥尾 [阿諛]追従・[竜蟠]虎踞	凡人が賢人を頼りにして功績を立てる。	そうよう
宝鈿[玉釵]・[銅牆]鉄壁 鉄網[珊瑚]・荊棘[銅駝]	きわめて堅固な守り。	どうしょう
桑土[綢繆]・驚心[動魄] [不撓]不屈・[崎嶇]坎軻	気魄に満ち困難にも怯まない。	ふとう
曲水[流觴]・[秉燭]夜遊 昼耕[夜誦]・勇往[邁進]	短い人生、大いに楽しむべきだ。	へいしよく
融通[無碍]・協心[戮力] 画竜[点睛]・麻姑[搔痒]	順調に物事が運ぶこと。	そうよう

面折[廷諍]・天顔[咫尺] [讒謗]罵詈・干戈[倥傯]	主君と相對して臆せず諫言する。	ていそう
[鼎鑪]玉石・[蘭摧]玉折 瑶林[瓊樹]・高牙[大纛]	人品が氣高く卓抜した人のたとえ。	けいじゅ
肉山[脯林]・[豺狼]当路 北轍[南轅]・[濫竽]充数	実力に過分な地位にいること。	らんう
[鴉巢]生鳳・万目[睚眦] 兔起[鶻落]・[竜驤]虎視	氣焰万丈、天下を呑む意気のさま。	りゅうじょう りょうじょう
簞食[壺漿]・[霖雨]蒼生 人権[蹂躪]・一世[風靡]	悩める民を救う人のたとえ。	りんう
[金甌]無欠・[旗幟]鮮明 完璧[埴趙]・[銅駝]荆棘	領土を守り通す国家のたとえ。	きんおう
比肩[随踵]・[行尸]走肉 [霓裳]羽衣・狗尾[続貂]	粗悪な者が善美な者のあとに続く。	ぞくちょう
自己[韜晦]・旁時[掣肘] 彫心[鏤骨]・拳拳[服膺]	心に銘記して片時も忘れない。	ふくよう
肩摩[韞擊]・非難[囂囂] 兵馬[倥傯]・[澆季]溷濁	往来の雑踏すること。	こくげき
[蓴羹]鱸膾・[牽攀]乖隔 風雨[対牀]・浮雲[翳日]	相思の仲でも遠く離れていること。	けんれん
[琴瑟]相和・[灑掃]応対 [三疊]三浴・光風[霽月]	心が清らかで朗らかなこと。	せいげつ
傾側[偃仰]・旌旗[卷舒] [舳艫]千里・[嚆矢]濫觴	多くの船が連なり続くさま。	じくろ
七縱[七擒]・[豁達]自由 [輾轉]反側・籠鳥[檻猿]	相手を自由自在に操り懐柔する。	しちきん
喋喋[喃喃]・[叱咤]激励 [砥礪]切磋・精励[恪勤]	声を上げて奮起させること。	しった

[燕頤]虎頸・[跖狗]吠堯 七縱[七擒]・[鵲巢]鳩居	人の地位や成功を横取りすること。	じゃくそう
鳳凰[銜書]・宵衣[旰食] [寤寐]思服・発揚[蹈厲]	君主が政務に精励するさま。	かんしよく
滑稽[洒脱]・千巖[万壑] [瀟湘]八景・神韻[縹渺]	芸術作品などの玄妙なるさま。	ひょうびょう
[深厲]浅掲・狐裘[羔袖] 一薰[一蕕]・狗吠[緇衣]	状況に応じて適切な処理をとる。	しんれい
寸草[春暉]・家鷄[野雉] [舐糠]及米・曾母[投杼]	慈母の鴻恩に報いる難しさをいう。	しゆんき
[蹇蹇]匪躬・[探驪]獲珠 [鏃礪]括羽・[甕牖]繩枢	修養を積み有用の器となるたとえ。	ぞくれい
自己[韜晦]・炊金[饌玉] 彫心[鏤骨]・[三疊]三浴	大変な苦勞をすること。	るこつ ろうこつ
倒載[干戈]・[枕戈]待旦 干戚[羽旄]・[鞞擊]肩摩	戦いの準備を常に怠らないたとえ。	ちんか
雲烟[縹渺]・[渾然]一体 [結跏]趺坐・[拈華]微笑	以心伝心の妙所をいう。	ねんげ
明窓[浄几]・円滑[洒脱] [輪奐]一新・八面[玲瓏]	どこから見ても美しく鮮明なこと。	れいろう
被髮[纓冠]・被髮[左衽] 朝耕[暮耘]・[朝齋]暮塩	ひどく急ぎ慌てるたとえ。	えいかん
[慷慨]憤激・[霹靂]閃電 [波瀾]曲折・落英[繽紛]	勢いが激しくすばやいたとえ。	へきれき
浮家[泛宅]・粗衣[糲食] 茅屋[采椽]・鑿窓[啓牖]	質素な家宅のこと。	さいてん
[燕頤]投筆・[鴉巢]生鳳 朱墨[爛然]・墨痕[淋漓]	筆跡が黒々として精彩に富むさま。	りんり

夏癸[殷辛]・流血[淋漓] 枕流[漱石]・流金[鑠石]	猛烈な暑さのたとえ。	しゃくせき
竜蟠[虎踞]・老驥[伏櫪] 豪放[磊落]・大廈[高楼]	豪傑が拠点を構えて威勢を振るう。	こきよ
得隴[望蜀]・家鷄[野鷺] [矮子]看戲・[啐啄]同時	見識がなく、濫りに同調すること。	わいし
皓月[千里]・[一瀉]千里 [毫釐]千里・[舳艫]千里	物事が一気に進行すること。	いっしゃ
詩人[蛻骨]・[晝牀]架屋 載籍[浩瀚]・[禍棗]災梨	無駄な書物の刊行を非難する語。	かそう
家鷄[野雉]・籠鳥[檻猿] 独立[不羈]・頑迷[固陋]	自由を束縛された境遇のたとえ。	かんえん
杯盤[狼藉]・[秉燭]夜遊 花鳥[諷詠]・曲水[流觴]	詩歌を詠むことを競う風流な遊び。	りゅうしょう
剽疾[輕悍]・[輕佻]浮薄 [槃根]錯節・[訥言]敏行	後先考えない、うわついた言動。	けいちよう
劍拔[弩張]・[嘯風]弄月 [輕佻]浮薄・輕妙[洒脱]	軽快で洗練されているさま。	しゃだつ
[蹇蹇]匪躬・一氣[呵成] 一士[諤諤]・慧可[断臂]	自分の利害を顧みず主君に尽くす。	けんけん
[一蹶]不振・[枉尺]直尋 [刮目]相待・剛毅[木訥]	意志が強く、飾り気がないこと。	ぼくとつ
荒瘠[斥鹵]・槁項[黄馘] 哀鳴[啾啾]・瘦身[矮軀]	痩せさらばえた顔容のたとえ。	こうかく
深根[固蒂]・[緊禪]一番 [嚆矢]濫觴・跼天[躋地]	起源のたとえ。	こうし
[在邇]求遠・吹毛[求疵] [瞻望]咨嗟・区聞[陬見]	踏み行ふべき道理はすぐ側にある。	ざいじ

零絹[尺楮]・[七嘴]八舌 [韋編]三絶・載籍[浩瀚]	書物の数がきわめて多いたとえ。	こうかん
[在邇]求遠・[鑿壁]偷光 [槁項]黄馘・[郢書]燕説	貧乏の身で苦学すること。	さくへき
五行[相剋]・[拱手]傍觀 [牛驥]同皁・左提[右挈]	互いに手を取り合い協力すること。	ゆうけつ
風鬢[雨鬢]・洗垢[索瘢] [三疊]三浴・[灑掃]応対	身を清めて大切な相手を待つこと。	さんきん
[堯階]三尺・一家[眷族] 翠帳[紅閨]・三世[一爨]	三世帯が一家に同居すること。	いっさん
殘杯[冷炙]・顔厚[忸怩] [槁木]死灰・[麪市]塩車	恥辱を受けることのたとえ。	れいしゃ
百様[玲瓏]・南蛮[馱舌] [罵詈]雑言・[七嘴]八舌	あちこちから意見の出ること。	しちし
[斟酌]折中・[彗汜]画塗 [春蚓]秋蛇・[雕文]刻鏤	書画が見苦しく拙いたとえ。	しゅんいん
[砥礪]切磋・冒雨[剪韭] [鞭辟]近裏・[臍下]丹田	学問や修養に励み大成を期すこと。	しれい
比肩[随踵]・[脣齒]輔車 七縦[七擒]・[刮目]相待	持ちつ持たれつをいう。	しんし
[一瀉]千里・蚤寢[晏起] [旁時]掣肘・[晨夜]兼道	間断なく仕事に明け暮れること。	しんや
玉肌[香膩]・宵衣[盪食] [黄粱]一炊・炊金[饌玉]	至上の美食。	せんぎよく
[邯鄲]学歩・横行[闊歩] 醉歩[蹢躅]・[跂行]喙息	酩酊してよろめくさま。	まんさん ばんさん
星火[燎原]・為虎[傅翼] 南郭[濫竽]・烟波[縹渺]	小さな勢力が成長し猖獗を極める。	りょうげん

[澆季]末世・[晨夜]兼道 旌旗[卷舒]・星火[燎原]	戦いに明け暮れること。	けんじよ
[鏃礪]括羽・[崑山]片玉 戦戦[兢兢]・[切磋]琢磨	仲間同士競い合って学徳を高める。	せつさ
残杯[冷炙]・嘯矢[濫觴] [朮羹]艾酒・[浅斟]低唱	酒を味わって小声で詩歌を吟ずる。	せんしん
[禹步]舜趨・泉石[膏肓] 翼覆[嫗煦]・[紫髯]緑眼	自然を愛好してやまない。	こうこう
[折檻]諫言・[偕老]同穴 [夏鑪]冬扇・扇枕[温衾]	親に孝養を尽くすこと。	おんきん
[霹靂]閃電・一縷[千鈞] [袒裼]裸裎・桑田[滄海]	世の中の変遷が甚だしいこと。	そうかい
草滿[囷圀]・[槿花]一朝 [禹湯]文武・衆賢[茅茹]	天下泰平であることのたとえ。	れいご れいぎよ
[樽俎]折衝・扇枕[温衾] [奸智]術数・罵詈[讒謗]	平和的交渉で有利に話を運ぶこと。	そんそ
[枉駕]來臨・[霖雨]蒼生 [一饋]十起・簞食[壺漿]	飲食物を携えて軍隊を労うこと。	こしょう
拳拳[服膺]・[徙薪]曲突 烟波[縹渺]・[綢繆]未雨	災いを防ぐ準備をしておくこと。	ちゅうびゅう
彫虫[篆刻]・[春蚓]秋蛇 [麤枝]大葉・毫毛[斧柯]	末節ばかりの技巧や小細工。	てんこく
[縷縷]綿綿・嘔啞[嘲哂] 喋喋[喃喃]・風雨[对牀]	男女が小声で親しく語り合うさま。	なんなん
[恫疑]虚喝・[竜驤]虎視 吳牛[喘月]・遲疑[逡巡]	内心びくびくしながら相手を脅す。	どうぎ
朱墨[爛然]・筆力[扛鼎] [竜驤]虎視・兔起[鶻落]	筆勢の軽快で勢いのあるたとえ。	こつらく

北轍[南轅]・子墨[兔毫] [越鳧]楚乙・南橘[北枳]	環境が変化すれば性質も変化する。	ほくき ほつき
好評[嘖嘖]・天威[咫尺] [阮簡]曠達・[南洽]北暢	天子の恩威が国中に行き渡ること。	なんこう
[驕奢]淫逸・[樽俎]折衝 宴安[鳩毒]・杯盤[狼藉]	済んだ酒席の散乱するさま。	ろうぜき
按図[索驥]・流言[蜚語] 博引[旁証]・[洽覽]深識	多くの資料を挙げて物事を論じる。	ぼうしょう
[舐痔]得車・爬羅[剔抉] [黜陟]幽明・騎驢[覓驢]	隠れている人材を探し出し用いる。	てつけつ てきけつ
[紆余]委蛇・[蠹居]某処 泣斬[馬謖]・[槃根]錯節	物事が複雑で処理に厄介なこと。	ばんこん
[砥礪]切磋・[槃根]錯節 切齒[扼腕]・披荊[斬棘]	困難を克服して前進するたとえ。	ざんきよく
[禍棗]災梨・[俛首]帖耳 筆削[褒貶]・[口誅]筆伐	批評の態度が厳正なことをいう。	ほうへん
剽疾[輕悍]・筆力[扛鼎] 同心[戮力]・疾風[勁草]	文章の力強さをいう。	こうてい
[侈衣]美食・[輕佻]浮薄 豪放[磊落]・飛揚[跋扈]	法制に従わず横暴に振る舞う。	ばっこ
[俛首]帖耳・[躡足]附耳 韓信[匍匐]・[草廬]三顧	卑屈な態度で諂うさま。	ふしゆ
[弊帚]千金・余裕[綽綽] [茫然]自失・[擲果]滿車	自惚れが強いことのたとえ。	へいそう
千荊[万棘]・[童驤]虎視 右顧[左眄]・万目[睚眦]	多くの人ににらまれること。	がいさい
日月[逾邁]・驚心[動魄] 勇氣[凜凜]・[撼天]動地	失敗を恐れず直向きに臨むさま。	りんりん

安閑[恬静]・優游[涵泳] 潑墨[淋漓]・陶朱[猗頓]	寛裕な心で学芸の興趣を味わう。	かんえい
虚無[縹渺]・[春蚓]秋蛇 瑣碎[細膩]・余韻[嫋嫋]	物事の後に残る風情のたとえ。	じょうじょう
[妍姿]艶質・人心[収攬] 風光[明媚]・妖姿[媚態]	女性の蠱惑的な容姿や仕草。	びたい
落英[繽紛]・百花[繚乱] 桜花[爛漫]・[墜茵]落溷	花びらが乱れ散るさま。	ひんぷん
竜吟[虎嘯]・[竜驤]虎視 竜蟠[虎踞]・竜攘[虎搏]	強豪同士が激しく戦うさま。	こはく
因循[苟且]・形容[枯槁] [螻蟻]潰堤・[魚爛]土崩	小さな欠陥や油断が命取りである。	ろうぎ
[牛溲]馬勃・刻鵠[類鶩] 夢幻[泡影]・[鏤塵]吹影	甲斐がない無意味な努力。	ろうじん るじん
[驢鳴]犬吠・風声[鶴唳] 刻鵠[類鶩]・[鴉雀]無声	拙劣な詩文や、聞くに値しない話。	ろめい
連壁[賁臨]・昏定[晨省] [俛首]帖耳・[草廬]三顧	誠意を尽くして何度も訪れる。	そうろ
[鬼哭]啾啾・[蟬噪]蛙鳴 嘔啞[嘲哂]・哀鳴[啾啾]	鳥や虫などが悲しげに鳴くさま。	しゅうしゅう
虚静[恬憺]・孤影[悄然] 蕭敷[艾榮]・[鴉雀]無声	森閑のさま。	あじやく
[行尸]走肉・[鴉巢]生鳳 [范冉]生塵・蒼蠅[驥尾]	貧しい家から聡明な人が出ること。	あそう
一薰[一蕘]・[濯纓]濯足 天罰[覲面]・[遏惡]揚善	善行を奨励し、悪行を制止する。	あつあく
掩耳[偷鈴]・[三豕]涉河 [左眄]右顧・[阿諛]傾奪	権力に頼み他人の地位を略取する。	あゆ



[曠日]弥久・安閑[恬靜] [無慙]無愧・蛙鳴[蟬噪]	落ち着いた様子。	てんせい
意気[沮喪]・往事[茫茫] [奢侈]文弱・[心悸]亢進	気落ちする。	そそう
意識[朦朧]・悲壯[淋漓] [磊磊]落落・[淺斟]低唱	意識がはっきりしない様子。	もうろう
画脂[鑊氷]・枯魚[銜索] 昼耕[夜誦]・意匠[慘澹]	趣向を凝らすことで心を悩ます。	さんたん
槐門[棘路]・兔起[鶻落] 竜攘[虎搏]・一縷[千鈞]	きわめて危険なことのたとえ。	せんきん
連璧[賁臨]・炊金[饌玉] [敲金]擊石・[一攫]千金	一度にたやすく巨額の利益を得る。	いっかく
一家[眷族]・支葉[碩茂] [八紘]一字・[同袍]同沢	家族と血縁関係にある者。	けんぞく
自家[撞著]・一家[団欒] 侃侃[諤諤]・文質[彬彬]	家族が集まり楽しく談笑する。	だんらん
[尊羹]鱸膾・典謨[訓誥] [一饋]十起・簞食[壺漿]	賢者を求めることに熱心なたとえ。	いっき
[一闔]一關・黑白[混淆] 日月[逾邁]・[旌旗]卷舒	休息と活動の有り様を説くことば。	いっこう
[薏苡]明珠・[駢拇]枝指 一糸[一毫]・泰山[鴻毛]	ごくわずかなもののたとえ。	いちごう
[一觴]一詠・竜吟[虎嘯] 嘲風[啣月]・花鳥[諷詠]	酒を飲みながら詩を歌って楽しむ。	いっしょう
[韋編]三絶・朱墨[爛然] 一字[褒貶]・[一倡]三歎	優れた詩文に対する賛辞。	いっしょう
一世[風靡]・[衍曼]流爛 [草偃]風従・衆賢[茅茹]	ある時代に大いに流行すること。	ふうび

狐裘[蒙戎]・夷蛮[戎狄] 魯魚[亥豕]・胡漢[陵轢]	異民族の称。	じゅうてき
[佇思]停機・[萎靡]沈滯 积根[灌枝]・風声[鶴唳]	活気が衰え進展がなくなること。	いび
異聞[奇譚]・滑稽[洒脱] [郢書]燕説・造言[蜚語]	珍しく風変わりな話。	きたん
異類[無礙]・迂疎[空闊] 人心[収攬]・榮諧[伉儷]	異質なもの同士が通じ合う。	むげ
[撼天]動地・桃李[成蹊] 因果[覲面]・[恩讐]分明	悪事の報いがすぐさま現れること。	てきめん
[讒諂]面諛・陰謀[詭計] [帷幄]上奏・蜂目[豺声]	人を欺くための密かな悪巧み。	きけい
[得隴]望蜀・[荆棘]銅駝 [膾炙]人口・迂疎[空闊]	事情に昧く役に立たない。	くうかつ
烏兔[匆匆]・干戈[倥傯] 年災[月殒]・[渭樹]江雲	歳月が早く過ぎ去るたとえ。	そうそう
[粟散]辺地・[紆余]委蛇 [跋山]涉水・[槃根]錯節	地形が屈曲しながら長く続くさま。	うよ
[咄咄]怪事・朽木[糞牆] [紆余]曲折・曲突[徙薪]	複雑な経緯をたどること。	うよ
雲烟[縹渺]・[長汀]曲浦 春風[駘蕩]・[飄忽]震蕩	雲や霞が遠くにたなびくさま。	ひょうびょう
[曠世]不羈・[狷介]不羈 [游雲]驚竜・雲遊[萍寄]	僧侶が諸方を遍歴することをいう。	へいき ひょうき
[影駭]響震・焦頭[爛額] 驚心[動魄]・[振臂]一呼	小さなことで恐れ動揺すること。	えいがい
英姿[颯爽]・[金欄]緞子 [雪魄]氷姿・終南[捷徑]	雄々しくきびきびとした様子。	さっそう

[越俎]代庖・英明[闊達] [阮籍]青眼・三面[六臂]	豪放哲人の性質。	かったつ
[舳艫]千里・[蛟竜]毒蛇 [封豕]長蛇・[蜿蜒]長蛇	うねうねと長く続くもののたとえ。	えんえん
[婉曲]迂遠・[郢書]燕説 [宛轉]蛾眉・雲容[烟態]	非常に回りくどいこと。	えんきよく
三月[庭訓]・[攘臂]疾言 [婉曲]迂遠・厭聞[飡聽]	聞き飽きる。	よちよう よてい
厭聞[飡聽]・[阿諛]追従 烈士[徇名]・[婉婉]聽従	言動が穏和で、従順なさま。	えんべん えんぱん
[衍曼]流爛・人口[膾炙] 放辟[邪侈]・縦横[無礙]	悪が世にはびこること。	えんまん
[瓊枝]玉葉・落英[繽紛] 雪萼[霜葩]・桜花[爛漫]	花が満開になって咲き乱れるさま。	らんまん
横行[跋扈]・才氣[煥發] 天真[爛漫]・百花[撩乱]	のさばって勝手気儘に振る舞う。	ばっこ
往事[渺茫]・虚無[縹渺] [黜陟]幽明・浮雲[翳日]	昔のことははっきりしない。	びょうぼう
法界[愷氣]・[矯枉]過直 [枉法]徇私・[豁達]大度	規則を私意にゆがめて悪用する。	おうほう
[草廬]三顧・[甕牖]繩枢 鳩居[鵲巢]・筆路[藍縷]	貧しい家のたとえ。	おうゆう
七縦[七擒]・[截断]衆流 [旗幟]鮮明・[恩讐]分明	恩には恩で、仇には仇で報いる。	おんしゅう
無余[涅槃]・厭離[穢土] 沐浴[抒溷]・[滄海]桑田	けがれた現世を嫌って離れること。	えど
売刀[買犢]・[鷄尸]牛従 朝憲[紊乱]・[誨淫]誨盜	悪事を人に教導すること。	かいいん

[池塘]春草・[槿花]一朝 [鸞翔]鳳集・[磴風]春雨	物事の前兆のたとえ。	がいふう
[北轅]適楚・人権[蹂躪] [傀儡]政権・[濫竽]充数	他国によって操られている政権。	かいらい
侃侃[諤諤]・[呵呵]大笑 [一顰]一笑・百口[嘲謗]	大声をあげて笑うこと。	かか
薤露[蒿里]・[一觴]一詠 [慷慨]憤激・歌功[頌徳]	人の善行を賞讃する。	しょうとく
面脂[鑲氷]・[発蹤]指示 簞食[瓢飲]・効果[覲面]	骨を折るばかりで功のないたとえ。	ろうひょう
零絹[尺楮]・円滑[灑脱] [闊達]自在・牽攀[乖隔]	心が広く物事にこだわらないさま。	かつたつ
低唱[浅斟]・[豁達]大度 顔厚[忸怩]・桜花[爛漫]	度量が非常に大きいさま。	かつたつ
発揚[蹈厲]・[瓦釜]雷鳴 画竜[点睛]・跳梁[跋扈]	物事を中心となる大切なところ。	てんせい
鼓舌[摇唇]・戦戦[兢兢] 干戈[倥傯]・[擲果]満車	戦いで忙しいこと。	こうそう
[哀矜]懲創・[轆軻]不遇 [蹇蹇]匪躬・[崑山]片玉	時世に恵まれず志を遂げられない。	かんか
緩歌[縵舞]・余韻[嫋嫋] [鳧趨]雀躍・優柔[厭飫]	ゆるやかな歌や踊り。	まんぶ
緩歌[縵舞]・歓喜[扑舞] 風声[鶴唳]・摩頂[放踵]	大喜びするたとえ。	べんぶ
[坎軻]不遇・家鷄[野鶩] [雕虫]篆刻・管窺[蠡測]	非常に見識が狭いこと。	れいそく
満目[荒寥]・蜂目[豺声] 眼光[炯炯]・[紫髯]緑眼	洞察力、観察力の鋭いさま。	けいけい

疾言[遽色]・[妍姿]艶質 [拈華]微笑・顔厚[忸怩]	深く恥じ入ること。	じくじ
白髪[青衫]・翫歳[愒日] [槁木]死灰・老驥[伏櫪]	月日を無為に過ごす。	かいじつ
[槁木]死灰・甘井[先竭] 牛驥[同皁]・声名[狼藉]	才能ある者は早く衰退するたとえ。	せんけつ
[六韜]三略・[典謨]訓誥 抱頭[鼠竄]・[奸智]術数	悪知恵。悪だくみ。	かんち
禍福[倚伏]・[旱天]慈雨 [玄圃]積玉・礎風[春雨]	待望していたことが実現すること。	かんてん
開天[闢地]・[跼天]躋地 乾端[坤倪]・[撼天]動地	活動のきわめて目覚ましいこと。	かんてん
[艱難]辛苦・鑿窓[啓牖] 環堵[蕭然]・[綢繆]牖戸	家が狭くみすぼらしいさま。	しょうぜん
[艱難]辛苦・[蠹居]某処 桑土[綢繆]・[蟄居]屏息	行き詰まって深く悩むこと。	かんなん
杯盤[狼藉]・[竜蟠]虎踞 [含飴]弄孫・[奸佞]邪智	心が捻くれて狡賢いこと。	かんねい
[霑体]塗足・[師曠]清耳 [鄒衍]降霜・頑廉[懦立]	大人物に感化されて改心すること。	だりつ
[允文]允武・既往[不咎] 曠世[不羈]・往事[茫茫]	過ぎたことは責め立てない。	ふきゅう
[崎嶇]坎軻・巍然[屹立] [旌旗]堂堂・河山[帶厲]	人や物などが一際卓越したさま。	きつりつ
鞠躬[尽瘁]・[廓然]大公 彩鳳[随鴉]・[驥服]塩車	英才が世に用いられないこと。	きふく
三世[一爨]・[越鳧]楚乙 牛驥[同皁]・衆賢[茅茹]	賢者と愚者が同じ待遇をうける。	どうそう

一世[風靡]・槐門[棘路] [澆季]末世・牝鷄[晨鳴]	時勢の衰えた乱れた世。	ぎょうき
[恐懼]感激・歛喜[扑舞] [恐惶]敬白・[兢兢]業業	畏敬の念を抱きながらも喜ぶこと。	きょうく
狂言[綺語]・花鳥[諷詠] [淺斟]低唱・[矮子]看戲	和歌や物語などを卑しめていう。	きご きぎよ
狂言[綺語]・[恐惶]謹言 [夷險]一節・折檻[諫言]	手紙の末尾に書き添える言葉。	きょうこう
[巍然]屹立・[驕奢]淫逸 宵衣[旰食]・[酒甕]飯囊	限度を越えた贅沢をすること。	きょうしゃ
鶴立[企佇]・[拱手]傍觀 [跛立]箕坐・[矮子]看戲	眺めているだけでなにもしない。	きょうしゅ こうしゅ
四六[駢儷]・協心[戮力] [並駕]齊驅・榮諧[伉儷]	一致団結して物事を行うこと。	りくりよく
[戮力]協心・顔厚[忸怩] 天宇[地廬]・仰天[不愧]	公明正大で恥ずべきところがない。	ふき
[狐裘]蒙戎・吞刀[刮腸] [肉袒]負荊・[驕兵]必敗	増長した軍隊は敗戦を免れない。	きょうへい
朝憲[紊乱]・[狂瀾]怒濤 右顧[左眄]・[澆季]末世	物事の秩序が酷く乱れた状態。	きょうらん
玉石[混淆]・[閻浮]檀金 千緒[万縷]・[槃根]錯節	良いものと悪いものが混在する。	こんこう
[豕交]獸畜・附贅[懸疣] [同衾]共枕・玉石[同匱]	賢愚の別なく一所に入り交じる。	どうき
虚静[恬淡]・虚無[縹緲] 明眸[皓齒]・意気[沮喪]	心に蟠りがなく落ち着いたさま。	てんたん
毀誉[褒貶]・喧喧[囂囂] 讒諂[面諛]・[遏惡]揚善	称賛したり非難したりすること。	ほうへん

左提[右挈]・[琴瑟]相和 煮豆[燃萁]・[鵲巢]鳩居	夫婦仲や兄弟仲の良いたとえ。	きんしつ
煮豆[燃萁]・[前倨]後恭 滿身[創痍]・苦心[慘憺]	非常に苦勞して心を砕き悩ます。	さんたん
形容[枯槁]・[行尸]走肉 [荒瘠]斥鹵・鞠躬[尽瘁]	容貌が瘦せ衰えて生気がないさま。	こう
[黄粱]一炊・異聞[奇譚] 桑田[滄海]・[譎詭]變幻	様々な奇異な様子に変化すること。	けつき
頑廉[懦立]・[挙棊]不定 [狷介]孤高・[孤陋]寡聞	節操が堅く、高踏的なこと。	けんかい
狷介[固陋]・[金甌]無欠 剛毅[朴訥]・被髮[佯狂]	人と相容れず妥協を嫌うさま。	ころう
尾大[不掉]・巖塞[要徼] 狷介[不羈]・高牙[大纛]	束縛を受けず、他と妥協しない。	ふき
[蟬噪]蛙鳴・侃侃[諤諤] 喧喧[囂囂]・[嘔啞]嘲哂	大勢の人が喚き騒ぐさま。	ごうごう
常備[不懈]・[參差]錯落 言行[齟齬]・[蕩佚]簡易	言うこととやることが一致しない。	そご
乾坤[一擲]・魂飛[魄散] [緊禪]一番・[猿猴]取月	一か八かの大勝負をする。	いってき
[侈衣]美食・[霓裳]羽衣 [妍姿]艶質・[霧鬢]風鬟	婀娜っぽい体相や容貌。	けんし
亮遺[巾幗]・[大衾]長枕 九仞[一簣]・[阮籍]青眼	大いに喜び迎え入れた。	げんせき
[荊棘]叢裏・縞衣[綦巾] [厥角]稽首・衣錦[尚絅]	自分の妻を謙遜していう。	ききん
一望[無垠]・後悔[噬臍] [蹉跎]白髮・懸崖[勒馬]	悔やんでも間に合わない。	ぜいせい

華亭[鶴唳]・豪華[絢爛] [磊磊]落落・[琴瑟]相和	きわめて贅沢で煌びやかなさま。	けんらん
一縷[千鈞]・画脂[鏤氷] 効果[覲面]・[矯枉]過直	結果や効き目が瞬時に現れるさま。	てきめん
香氣[芬芬]・[滿腔]春意 和氣[藹藹]・[飛絮]漂花	よい匂いがあたり一面に漂う様子。	ふんぷん
[槁木]死灰・槁項[黃馘] [行尸]走肉・[舐痔]得車	教養がなく、存在価値のない者。	こうし
鉤章[棘句]・筆力[扛鼎] 繁劇[紛擾]・子墨[兔毫]	難しく読みにくい文章をいう。	きよく
依怙[最屬]・非難[囂囂] 好評[嘖嘖]・筆削[褒貶]	非常に評判のよいさま。	さくさく
[槁木]死灰・[淺斟]低唱 翫歲[愒日]・[行尸]走肉	活気や意欲、また情味のない者。	こうぼく
[折檻]諫言・茅屋[采椽] 毫毛[斧柯]・倒載[干戈]	小さいうちに災いは取り除くべき。	ふか
[緇林]杏壇・桃李[成蹊] 區聞[陋見]・[洽覽]深識	博学多聞であること。	こうらん
[黃粱]一炊・夙夜[夢寐] [超軼]絶塵・雕虫[篆刻]	人生栄華のはかないことのたとえ。	こうりょう
[鰥寡]孤独・風岸[孤峭] [登音]空谷・孤影[悄然]	一人ぼっちで寂しげなさま。	しょうぜん
苟且[偷安]・[恫疑]虚喝 疑雲[猜霧]・狐疑[逡巡]	優柔不断なさま。	しゅんじゅん
眼光[炯炯]・鷓目[虎吻] 長頸[烏喙]・[燕頷]虎頭	遠国の王侯となる貴相の形容。	えんがん
烏兔[匆匆]・往事[茫茫] 薤露[蒿里]・[海闊]天空	昔のことはかすかで明らかでない。	ぼうぼう



本地[垂迹]・光風[霽月] 心寛[体舒]・[槁木]死灰	恬淡虚無の精神状態。	こうぼく
[对驢]撫琴・宵衣[旰食] 夙興[夜寐]・昏定[晨省]	子が父母に日夜よく仕えること。	しんせい
先従[隗始]・往事[茫茫] 厭離[穢土]・齋戒[沐浴]	心身のけがれを取ること。	もくよく
[灑掃]応対・[温清]定省 [毫釐]千里・[殷鑑]不遠	年少者が学ぶべき仕事や作法。	さいそう
八面[玲瓏]・三面[六臂] 協心[戮力]・苦心[慘憺]	一人で何人分もの働きをすること。	ろっぴ
日月[逾邁]・白髮[青衫] 老驥[伏櫪]・翫歳[愒日]	年老いて死期が近づくことをいう。	ゆまい
爬羅[剔抉]・周章[狼狽] [燕頤]虎頸・[鴟目]虎吻	残忍で凶暴な人相をいう。	しもく
牝牡[驪黄]・煮豆[燃萁] 左提[右挈]・切齒[扼腕]	兄弟や仲間が互いに傷つけ合う。	ねんき
衆口[鑠金]・讒諂[面諛] 大海[撈針]・[黜陟]幽明	讒言や世評の恐ろしさを説く言葉。	しゃくきん
夷蛮[戎狄]・膾炙[人口] [聚蚊]成雷・[雷霆]万鈞	小人物でも集まれば脅威となる。	しゅうぶん
夙夜[夢寐]・抱残[守闕] [佇思]停機・堯鼓[舜木]	一日中絶えることなく。	むび
風声[鶴唳]・[尫眉]皓髮 [朱唇]皓齒・槁項[黄馘]	美人の容貌をいう。	しゅしん
[背裂]髮指・枕経[藉書] [頽墮]委靡・焦頭[爛額]	根本よりも末端を重視するたとえ。	らんがく
折花[攀柳]・[緇林]杏壇 [霖雨]蒼生・抱関[擊柝]	学問所や講堂を指す。	しりん

[皆裂]髮指・[封豕]長蛇 抱関[擊柝]・焦頭[爛額]	激怒のさま。	しれつ
人心[収攬]・人権[蹂躪] 人心[洶洶]・堯風[舜雨]	人々から信頼を得ること。	しゅうらん
鱗次[櫛比]・[砥礪]切磋 精励[恪勤]・夙夜[夢寐]	懈怠なく、職務に一所懸命なこと。	かつきん
[折檻]諫言・[苛斂]誅求 [恐惶]謹言・威風[凜凜]	厳しい戒め。	せつかん
英姿[颯爽]・[垂髻]戴白 [雪魄]氷姿・[妍姿]艶質	高潔で潔白な人物のたとえ。	せつぱく
[敲氷]求火・洗垢[索瘢] 騎驢[覓驢]・按図[索驥]	人の粗探しをすること。	さくはん
戦戦[兢兢]・干戈[倥傯] [鞠躬]尽瘁・一士[諤諤]	おそれつつしむさま。	きょうきょう
流金[鑠石]・[漱石]枕流 堯鼓[舜木]・剛毅[木訥]	負け惜しみの強いこと。	そうせき
[大廈]高樓・巍然[屹立] [僧伽]藍摩・[黝聖]丹漆	豪壮な建物。	たいか
[頹墮]委靡・[螻蟻]潰堤 [魚爛]土崩・[一蹶]不振	形体気力が次第に衰える。	たいだ
[対驢]撫琴・[狡兔]良狗 [雨霖]鈴曲・渾崙[吞棗]	愚者は高尚な道理を理解できない。	たいろ
断鶴[続晷]・[蕭敷]艾榮 [璞玉]渾金・天真[爛漫]	天質に作為を施すべきではない。	ぞくふ
貪夫[徇財]・[弊帚]千金 乾坤[一擲]・[伊尹]負鼎	金のためなら命をも犠牲にする。	じゅんざい
[広廈]万間・[珠聯]璧合 [迦陵]頻伽・[竹苞]松茂	新築落成の賞辞。	ちくほう

[艱難] 辛苦・[鵲巢] 鳩居 [葦酒] 山門・[蟄居] 屏息	外出せず一処に謹慎する。禁足令。	ちつきよ
意匠[惨澹]・外孫[齋白] 崎嶇[坎軻]・昼耕[夜誦]	貧苦の中で勉学に励む。	やししょう
頑迷[固陋]・延頸[企踵] 躊躇[逡巡]・[恫疑] 虚喝	ぐずぐずすること。	しゅんじゅん
攀竜[附驥]・桑田[滄海] 蒼蠅[驥尾]・[超軼] 絶塵	目にも留まらぬ速さで走ること。	ちょういつ
[殷鑑] 不遠・[超軼] 絶塵 懲羹[吹膾]・[蟄居] 屏息	一度の失敗で過ぎた危惧をする。	すいかい
[春蚓] 秋蛇・雕文[刻鏤] [彗汜] 画塗・[史籀] 大篆	文章の細部を工夫し飾ること。	こくる こくろう
[直截] 簡明・[狷介] 孤高 叡明[闊達]・虚静[恬淡]	文章や人柄が淡白劃然としている。	ちよくせつ
[濫竽] 充数・一世[風靡] 生气[潑刺]・[擲果] 満車	評判が高く非常に人気のあること。	てきか
天空[海闊]・好評[嘖嘖] 頑廉[懦立]・[槁木] 死灰	度量が大きく何の蟠りもない。	かいかつ
[槿花] 一日・[霑体] 塗足 [驥服] 塩車・呉牛[喘月]	つらい労働の形容。	てんたい
天地[開闢]・乾端[坤倪] [跼天] 踳地・[撼天] 動地	世界の初め。	かいびやく
[輾転] 反側・意匠[惨澹] [大衾] 長枕・[寤寐] 思服	思い悩んで眠れない様子。	てんてん
天歩[艱難]・[跋山] 涉水 [墜茵] 落溷・日月[逾邁]	時局に恵まれず苦勞する。	かんなん
神仏[混淆]・天門[開闔] 生滅[滅已]・死生[契闊]	万物の生滅変化をいう。	かいこう

蟄居[屏息]・為山[止簣] [韜光]晦迹・老驥[伏櫪]	自分の才徳をあらわにしない。	とうこう
一望[無垠]・嘔啞[嘲哂] [枉尺]直尋・得隴[望蜀]	人間の欲望には際限がない。	ぼうしよく
[師曠]清耳・鶴立[企佇] [駑馬]十駕・[鴉巢]生鳳	鈍才でも努力すれば秀才に及ぶ。	どば
南橘[北枳]・[越梟]楚乙 北轍[南轅]・[悖出]悖入	志と行いが矛盾していること。	なんえん
浮雲[翳日]・年災[月殃] 烏兔[匆匆]・[禍棗]災梨	嘗てないほどの不幸な日。	げつおう
協心[戮力]・苦心[慘憺] 八面[玲瓏]・八面[六臂]	多方面で際立った活躍をする。	ろっぴ
讒諂[面諛]・面折[廷諍] 罵詈[讒謗]・[奸智]術数	ありとあらゆる悪口を言い立てる。	ざんぼう
狷介[不羈]・[攀轅]臥轍 胡漢[陵轍]・尾大[不掉]	下位者の勢力が強く制御できない。	ふとう
泣斬[馬謖]・必求[壟断] [賤斂]貴発・[狡兔]三穴	巧みに立ち回り利益を独占した。	ろうだん
百折[不撓]・瓶墜[簪折] [紆余]曲折・[尊俎]折衝	困難に挫けず意志を貫くこと。	ふとう ふどう
百花[繚乱]・[絢爛]豪華 炊金[饌玉]・落英[繽紛]	優秀な人物や業績が一斉に現る。	りょうらん
風光[明媚]・[嘯風]弄月 仰觀[俯察]・巍然[屹立]	自然の美しい偉観。	めいび
烟霞[痼疾]・彫虫[篆刻] [風檣]陣馬・疾風[勁草]	筆勢が盛んで力強いこと。	ふうしょう
[譎詭]變幻・往事[茫茫] [不羈]奔放・浮家[泛宅]	型にはまらず気随気儘に行動する。	ふき

肩摩[鞞擊]・[厲兵]秣馬 倒載[干戈]・兵馬[倥傯]	戦乱の中の遽しさ。	こうそう
[萍水]相逢・[雲烟]過眼 頭会[箕斂]・[布韉]青鞋	旅路で偶然人と出会うたとえ。	へいすい
必求[壘断]・[竜驤]虎視 合歛[綢繆]・法界[愒氣]	他人の恋愛に嫉妬すること。	りんき
旁時[掣肘]・[不羈]奔放 橫行[闊歩]・[喙長]三尺	人の行動に容喙して阻害する。	せいちゆう
突怒[偃蹇]・[尾大]不掉 [傳虎]以翼・放辟[邪侈]	思うままに不埒な行いをする。	じゃし
[倚馬]七紙・[一瀉]千里 摩頂[放踵]・[九仞]一簣	苦勞を厭わず人のために尽くす。	ほうしょう
厭離[穢土]・雲雨[巫山] 開天[闢地]・無余[涅槃]	完全なる悟りの境地。	ねはん
[藜杖]韋帶・銘肌[鏤骨] [麤枝]大葉・錦心[綉口]	深く心に記憶する。	るこつ ろうこつ
[旗幟]鮮明・[脣齒]輔車 風光[明媚]・[明眸]皓齒	美女の形容。	めいぼう
和氣[藹藹]・門巷[填隘] 抱関[擊柝]・桃李[成蹊]	人集りで密集している様子。	てんあい
勇往[邁進]・[秉燭]夜遊 [断齋]画粥・[走尸]行肉	目的に向かって臆せず前進する。	まいしん
[轅門]二童・[皎月]千里 大海[撈針]・[雷霆]万鈞	威勢が強大で止められないこと。	らいてい
[鸞翔]鳳集・玉兔[銀蟾] 門巷[填隘]・天門[開闔]	優れた人物たちが集結するたとえ。	らんしょう
[駢拇]枝指・[萍水]相逢 [戮力]同心・八面[六臂]	心を合わせて協力する。	りくりよく

[沐浴] 抒溷・[霑体] 塗足 載籍[浩瀚]・流汗[淋漓]	全身から汗が滴ること。	りんり
竜吟[虎嘯]・[竜驤] 虎視 竜蟠[虎踞]・竜攘[虎搏]	同類は相応じ従うということ。	こしょう
流言[蜚語]・南蛮[馱舌] 狂言[綺語]・異聞[奇譚]	根も葉もない噂話。	ひご
心広[体胖]・和気[藹藹] [涅槃] 寂静・春寒[料峭]	睦まじい気分が満ちているさま。	あいあい
一士[諤諤]・阿諛[便佞] 窮鼠[嚙猫]・[媚眼] 秋波	言葉巧みに相手に取り入る。	べんねい
[哭達] 泣練・家鷄[野雉] [濯纓] 濯足・頑迷[固陋]	旧習などに固執し理非も弁えない。	ころう
[跖狗] 吠堯・一薰[一蕪] [一闔] 一關・黑白[混淆]	善悪正邪の区別を弁えないこと。	こんこう
国歩[艱難]・[杞人] 天憂 [霧鬢] 風鬢・九仞[一簣]	国政が振るわず国運が危うい。	かんなん
瞻望[咨嗟]・[撥雲] 見日 [竜驤] 虎視・虎視[眈眈]	好機を狙って形勢を伺うさま。	たんたん
渾崙[吞棗]・南蛮[馱舌] [脣齒] 輔車・鼓舌[搖脣]	矢継ぎ早にしゃべること。	ようしん
[五蘊] 皆空・五臟[六腑] [滿腔] 春意・咽喉[右臂]	心の中。	ろつぶ
南蛮[馱舌]・一糸[一毫] 頑迷[固陋]・滑稽[洒脱]	達弁で洗練されているさま。	しゃだつ
[孤陋] 寡聞・鑿窓[啓牖] [鰥寡] 孤独・頑廉[懦立]	独りよがりで見識が狭いこと。	ころう
徳性[涵養]・[渾然] 一体 [晨夜] 兼道・[飛絮] 漂花	様々なものが溶け合い一つとなる。	こんぜん

和光[垂迹]・英姿[颯爽] 才氣[煥發]・[渾然]一体	英気が盛んに現れ出ること。	かんぱつ
毀譽[褒貶]・讒諂[面諛] 面折[廷諍]・[口誅]筆伐	他人を悪く言っておべっかを使う。	めんゆ
[以杞]包瓜・[已己]已己 自己[欺瞞]・自己[韜晦]	節操を知り自分を衒らかさないこと。	とうかい
実践[躬行]・自己[欺瞞] 自己[韜晦]・海底[撈月]	自分で実地に行くこと。	きゆうこう
失魂[落魄]・墜茵[落溷] [心悸]亢進・[奢侈]淫佚	不道德な贅沢にふけること。	しゃし
失魂[落魄]・墜茵[落溷] 奢侈[淫佚]・[奢侈]文弱	贅沢と文事に耽り、気は弱いこと。	しゃし
[持梁]齒肥・醜惡[奸邪] 奴顏[婢膝]・旁時[掣肘]	行いなどが卑劣で道理に悖ること。	かんじゃ
[唇齒]輔車・当面[蹉過] 翼覆[嫗煦]・拾遺[補闕]	非を正し、手助けすること。	ほけつ
自由[闊達]・七縱[七擒] 豪華[絢爛]・人生[羈旅]	磊磊落落奔放不羈のさま。	かつたつ
戎馬[倥傯]・年災[月殒] 倒載[干戈]・[兢兢]業業	戦場にあつて忙しく軍務を行うこと。	こうそう
明朗[闊達]・[參差]錯落 言行[齟齬]・常備[不懈]	有事のための用意を怠らないこと。	ふかい
[飄忽]震蕩・[慷慨]憤激 [心悸]亢進・意氣[沮喪]	心臓の鼓動が激しくなること。	しんき
人口[稠密]・[偕老]同穴 [疊牀]架屋・[広廈]万間	人や家屋が隙間なく集まっていること。	ちゆうみつ
人心[洶洶]・人権[蹂躪] 一世[木鐸]・一世[風靡]	世の人々が恐れおののくこと。	きょうきょう

[巫蠱]神仏・[三聚]浄戒 五行[相剋]・神仏[混淆]	神道と仏教を一緒に祀ること。	こんこう
悲歌[慷慨]・[垂涎]三尺 [濫竽]充数・長頸[烏喙]	ある物を深く欲するたとえ。	すいぜん すいえん すいせん
[贅沢]三昧・草満[囹圄] 生氣[潑刺]・春風[駘蕩]	活力が満ち溢れているようす。	はつらつ
翫歳[悒日]・[悽愴]流涕 [齧指]痛心・[薤露]蒿里	悼み悲しんで涙を流す。	せいそう
[贅沢]三昧・[不羈]奔放 [逍遙]自在・放辟[邪侈]	心のままに奢侈を尽くす。	ぜいたく
声名[狼藉]・甘井[先竭] 朽木[糞牆]・[燉煌]五竜	評判が落ちて収拾がつかないこと。	ろうぜき
[截断]衆流・[恩讐]分明 三薰[三沐]・[三疊]三浴	俗世間の雑念妄想を断ち切ること。	せつだん
商山[四皓]・雪萼[霜葩] [瀟湘]八景・千巖[万壑]	岩山と溪谷の景観。	ばんがく
深根[固柢]・意匠[惨澹] [緊禪]一番・率先[躬行]	先立って実践すること。	きゅうこう
河山[帶厲]・大海[撈針] [雷霆]万鈞・呉牛[喘月]	ほとんど実現不可能なことのたとえ。	ろうしん
田園[将蕪]・朝耕[暮耘] 桑田[滄海]・張王[李趙]	農業に励むこと。	ぼうん
[恍然]大悟・因循[苟且] [佇思]停機・[豁然]大悟	心を働きが止まりぐずぐずしている。	ちよし
[姪虐]暴戾・[跌蕩]放言 魂飛[魄散]・声名[狼藉]	好き放題に言い散らすこと。	てつどう
剛毅[直諒]・百花[繚乱] 天真[爛漫]・[蕭敷]艾榮	無邪気で屈託のないさま。	らんまん



天罰[覲面]・[僭賞]濫刑 天威[咫尺]・[遏惡]揚善	悪事の報いは直ちに発現する。	てきめん
[蕩佚]簡易・天宇[地廬] [擒縱]自在・[淳膏]湛碧	寛大で大雑把なさま。	どういつ
[游雲]驚竜・[刮目]相待 [渴驥]奔泉・[瞠目]結舌	驚いて呆然とすること。	どうもく
門巷[填隘]・法界[悋氣] 独学[孤陋]・[鰥寡]孤独	師友のない学問は見識が狭くなる。	ころう
[訥言]敏行・疾言[遽色] [禹行]舜趨・剽疾[輕悍]	空言を謹み実行を速やかにする。	とつげん
侃侃[諤諤]・[呵呵]大笑 [咄嗟]叱咤・[躡足]附耳	怒鳴りつけること。	とつさ
波詭[雲譎]・[咄咄]怪事 [紆余]曲折・[佇思]停機	とても奇妙なこと。不都合なこと。	とつとつ
[蹈節]死義・[蠹居]某処 [矯枉]過直・[悖德]没倫	人道に外れた行いのこと。	はいとく
法界[悋氣]・破戒[無慙] 斗量[帚掃]・漠漠[濛濛]	戒法に背いても心に恥じないこと。	むざん
[以蠡]測海・深文[巧詆] 博識[洽聞]・区聞[陋見]	たくさんの知見を持っていること。	こうぶん
[樽俎]折衝・[波瀾]曲折 [霹靂]閃電・悖入[悖出]	ごたごたした複雑な事情や変化。	はらん
[熙熙]壤壤・斗量[帚掃] 万寿[無疆]・一望[無垠]	人の長命を祈る語。	むきよう
依怙[聳厲]・非難[囂囂] 好評[嘖嘖]・筆削[褒貶]	責め立てる声が多く大きいこと。	ごうごう
[悖入]悖出・被髮[佯狂] 被髮[纓冠]・被髮[左衽]	髪をふり乱して狂人の真似をする。	ようきよう

烟霞[痼疾]・心悸[亢進] 無病[呻吟]・病入[膏肓]	重病で治療が難しい状態。	こうこう
[敝衣]蓬髮・[臍下]丹田 [半饑]半飢・[布韉]青鞋	汚い出で立ち。	へいい
後悔[噬齊]・[敝衣]蓬髮 [咄嗟]叱咤・偏袒[扼腕]	痛惜に堪えず激昂すること。	やくわん
[駢拇]枝指・[蒹葭]玉樹 連璧[賁臨]・宝鈿[玉釵]	美しいもののたとえ。	ぎよくさい
蚊子[咬牛]・[鞭辟]近裏 [俛首]帖耳・[北轅]適楚	志と行動とが相反するたとえ。	ほくえん
茅堵[蕭然]・煮豆[燃萁] 意匠[慘憺]・満身[創痕]	精神的にひどく痛めつけられること。	そうい
満目[蕭条]・万目[睚眦] [皓月]千里・万寿[無疆]	見渡す限り物寂しいさま。	しょうじょう
[春蚓]秋蛇・無根[無蒂] [無慙]無愧・無辺[無礙]	悪事を働いても平然としていること。	むざん
[霧鬢]風鬢・風鬢[雨鬢] [杞人]天憂・満目[蕭条]	美しい髪のとえ。	むびん
毛骨[悚然]・[樗櫟]散木 轍乱[旗靡]・蠹居[某処]	ひどく恐れるさま。	しょうぜん
沐浴[抒溷]・[羊裘]垂釣 余裕[綽綽]・[茫然]自失	悠然と落ち着き払ったさま。	しゃくしゃく
[縷縷]綿綿・喋喋[喃喃] [飛絮]流花・無病[呻吟]	話が長く、くどくどしいさま。	るる
勦百[諷一]・八面[六臂] [聯袂]辞職・[霖雨]蒼生	大勢が一斉に職を辞すること。	れんべい

◆ 3 ～ ◆ 4 四字熟語意味

[哭岐]泣練・[草偃]風従 [発揚]蹈厲・[北轍]南轅	善人と悪人も元は素朴な人だった。	こくき
按図[索驥]・吹毛[求疵] [邑犬]群吠・騎驢[覓驢]	机上の空論。	さくき
冒雨[剪韭]・[彗汜]画塗 [渭樹]江雲・塵飯[塗羹]	遠方の友人を思う情の切実なこと。	いじゆ
一丘[一壑]・病入[膏肓] [超軼]絶塵・浮家[泛宅]	自然に幽居し、その風流を楽しむ。	いちがく
[梧桐]一葉・[椿萱]並茂 [太羹]玄酒・[一裘]一葛	貧乏のたとえ。	いつきゆう
狗尾[続貂]・[惡遏]揚善 烏兔[匆匆]・一薰[一蕕]	善は消え易く、悪は除き難い。	いちゆう
大名[鼎鼎]・[滄海]揚塵 一世[木鐸]・人心[洶洶]	世の人々の指導者。	ぼくたく
一箭[双雕]・[敝帚]千金 [一擲]千金・[探驪]獲珠	一つの行為で二つの利益を得ること。	そうちょう
[海闊]天空・[敲金]擊石 [軻親]断機・[一擲]千金	豪快な振る舞いのたとえ。	いってき
一髮[千鈞]・[菟糸]燕麦 千緒[万縷]・劍拔[弩張]	きわめて危険なことをするたとえ。	せんきん
瑣碎[細膩]・[譎詭]變幻 [一嘖]一笑・明察[秋毫]	わずかな表情の変化。	いっぴん
[騏驥]過隙・為虎[傅翼] [倚馬]七紙・[磨揉]遷革	一息に名文を書き上げる才能。	いば
[典謨]訓誥・先従[隗始] [鞭辟]近裏・[殷鑑]不遠	失敗を戒める例は身近にある。	いんかん

[慇懃]尾籠・[顛沛]流離 伯牙[絶絃]・[卑躬]屈節	過度な礼儀は却って無礼となる。	いんぎん
[瓊枝]玉葉・允文[允武] [文恬]武嬉・高牙[大纛]	天子の文武の徳を褒めたたえる語。	いんぶ
倚門[倚閭]・[葦酒]山門 高車[駟馬]・[于公]高門	陰徳を行う者の子孫は必ず興る。	うこう
[萍水]相逢・[灑掃]応対 [雲烟]過眼・[蕙苴]明珠	物事に深く執着しないたとえ。	うんえん
[雲烟]万里・[杞人]天憂 [晨星]落落・千巖[万壑]	非常に遠く離れていること。	うんえん
[崑山]片玉・疾風[勁草] [雲烟]飛動・千巖[万壑]	筆勢が躍動して力強いことのたとえ。	うんえん
[隋珠]和璧・榮諧[伉儷] 蕭敷[艾榮]・束髮[封帛]	結婚を賀する言葉。	こうれい
切齒[搯腕]・慧可[断臂] 劍拔[弩張]・[肉袒]負荊	なみなみならぬ決意を示すこと。	だんぴ
[羊很]狼貪・[伏寇]在側 [越俎]代庖・中樞[後勁]	他人の職分や権限を侵すこと。	えっそ
異類[無礙]・[譎詭]變幻 [越鳧]楚乙・南蛮[北狄]	同じ物でも地域で呼び名が異なる。	えっふ
宴安[鳩毒]・死生[契闊] 生滅[滅已]・窃玉[偷香]	享樂に溺れることを戒めることば。	ちんどく
協心[戮力]・隔靴[搔癢] 円滑[洒脱]・英姿[颯爽]	物事をそつなく取り仕切るさま。	しゃだつ
[螻蟻]潰堤・墜茵[落溷] [僭賞]濫刑・[猿猴]取月	身のほど知らずが身を滅ぼすこと。	えんこう
[飛絮]漂花・怨女[曠夫] [巫雲]蜀雨・史魚[屍諫]	年頃になっても独身で居る男と女。	こうふ

[大輅]椎輪・[三豕]金根 [璞玉]渾金・[閻浮]檀金	良質の金のたとえ。	だごん だんごん
[酒甕]飯囊・[円顱]方趾 [躡足]附耳・[竹頭]木屑	人間の提喻。	えんろ
懸崖[勒馬]・[得隴]望蜀 [枉尺]直尋・[泣斬]馬謖	大望のため小さきを犠牲にする。	おうせき
牀上[施牀]・[重熙]累洽 [牛溲]馬勃・[喙長]三尺	無駄なことをするたとえ。	ししょう
[膾炙]人口・[顛沛]流浪 一望[無垠]・[海市]蜃楼	詩文などが世間に広く注目される。	かいしゃ かいせき
[訥言]敏行・[泥首]銜玉 [喙長]三尺・[于公]高門	口八丁。	かいちよう
本地[垂迹]・[開天]闢地 [澆季]溷濁・[星火]燎原	過去に例のない大きな出来事。	へきち
[布鞮]青鞋・[家鷄]野雉 [蓋瓦]級輓・[厭聞]飡聽	陳腐さを嫌い、斬新さを尊ぶ。	やち
河山[帶厲]・[海底]撈月 大海[撈針]・[大廈]高楼	永久不変の堅い誓約。	たいれい
誨淫[誨盜]・[道揆]法守 [軻親]断機・[為山]止簣	学問などを中断することの戒め。	かしん
窮鼠[啣猫]・[渴驥]奔泉 [飲鳩]止渴・[委肉]虎蹊	書の筆勢が力強いこと。	かつき
高談[闊歩]・[魴魚]鱗尾 [活潑]潑地・[墨痕]淋漓	生気が漲り生き生きしたさま。	かつはつ かつぱつ
[瞠目]結舌・[蒼蠅]驥尾 [竜驤]虎視・[刮目]相待	今までの先入観を捨てて相手を見る。	かつもく
鶴鳴[九臯]・[華亭]鶴唳 [瞻前]顧後・[鼓盆]而歌	過去の栄華を顧みて現状に嘆く。	かくれい

敬頌[新禧]・[前倨]後恭 [禍棗]災梨・禍福[倚伏]	幸不幸は交互に巡り来るものだ。	いふく
[朮羹]艾酒・[藜杖]韋帶 [夏鑪]冬扇・[春蚓]秋蛇	時期外れの無用な事物のたとえ。	かる
死生[契闊]・[誠惶]誠恐 [銜哀]致誠・[噬指]棄薪	人の死を悼む言葉。	がんあい
烟波[縹渺]・[虎嘯]風烈 含英[咀華]・[束皙]竹簡	文章の巧妙さを賞玩する。	しょか
[孤陋]寡聞・筆門[閨竇] [鰥寡]孤独・[狷介]孤独	天下の窮民無告の民。	かんか
顔厚[忸怩]・老驥[伏櫪] 怒猊[抉石]・韓信[匍匐]	大望のために目前の辱めを忍ぶ。	ほふく
日常[坐臥]・[寒煖]饑飽 [慘憺]經營・[斷齋]画粥	平生の苦しみと楽しみをいう。	かんだん
以杙[為楹]・[麪市]塩車 盧弓[盧矢]・[邯鄲]学歩	人の真似をして己の本分を失する。	かんとん
[銜尾]相隨・[前仆]後繼 斷鶴[統鳧]・[封豕]長蛇	切れ目なく連なって進むこと。	かんび
千孔[百瘡]・勸百[諷一] [舐糠]及米・宴安[酖毒]	悪影響となるばかりで役立たない。	ふういつ
疑雲[猜霧]・奴顏[婢膝] [霧鬢]風鬟・[朝齋]暮塩	不審がられていることの隠喩。	さいむ
翫歲[愒日]・[豁然]大悟 [光芒]一閃・[騏驥]過隙	ほんの一瞬の出来事。	きき
衆口[鑠金]・[熙熙]壤壤 無辺[無礙]・直往[邁進]	大勢の人が賑やかに行き交うさま。	きき
[崎嶇]坎軻・兔起[鳧拳] [輾轉]反側・[樗櫟]散木	不遇で世渡りに大変苦勞すること。	きく

爬羅[剔抉]・豪放[磊落] [緊禪]一番・鬼哭[啾啾]	凄まじい気配が漂い迫り来るさま。	しゅうしゅう
天歩[艱難]・[邑犬]群吠 [驢鳴]犬吠・[杞人]天憂	取り越し苦労。	きじん
必求[壘断]・泣斬[馬謖] 枉法[徇私]・[阮簡]曠達	私情を捨てて規律の公平さを保つ。	ばしよく
八面[六臂]・[金甌]無欠 桑土[綢繆]・[韋編]三絶	災難に備えて予防線を張ること。	ちゅうびゅう
浮花[浪蕊]・[阿輶]輶地 仲連[蹈海]・[晨星]落落	次々と言葉が発せられること。	あろく
金塊[珠礫]・[九鼎]大呂 [鼎鑪]玉石・[大輅]椎輪	要職や名望、貴重な物品のたとえ。	きゅうてい
[撥乱]反正・[牛溲]馬勃 [截鉄]斬釘・[矯枉]過直	過ぎた是正は却って逆効果である。	きょうおう
[鴉雀]無声・[登音]空谷 人跡[罕到]・[黛蓄]膏淳	珍事や予期せぬ慶事のたとえ。	きょうおん
澆季[溷濁]・槁項[黄馘] [哭達]泣練・[悖德]没倫	道徳が荒廃し、無秩序な世の中。	こんだく
一伍[一什]・[揣摩]臆測 [卑躬]屈節・[兢兢]業業	全てに用心深くあるべきである。	きょうきょう
怨女[曠夫]・[堯階]三尺 牛糞[馬涎]・[煖衣]飽食	質素な住居・生活のたとえ。	ぎょうかい
[老萊]斑衣・[驢鳴]犬吠 孫楚[漱石]・[堯鼓]舜木	人の善言をよく聞き入れること。	ぎょうこ
徳性[涵養]・[侈衣]美食 [膏粱]子弟・[彊食]自愛	欠かさず食事を取り体を大事にする。	きょうしよく
驚心[動魄]・[一擲]千金 雕文[刻鏤]・[嚆矢]濫觴	深く感動すること。	どうはく

尊皇[攘夷]・[殷鑑]不遠 堯年[舜日]・三世[一爨]	天下泰平の世。	しゅんじつ
堯風[舜雨]・[堯鼓]舜木 [三爨]三浴・三薰[三沐]	太平の世の形容。	しゅんう
深根[固柢]・[嚮壁]虚造 無病[呻吟]・疑雲[猜霧]	根も葉もないことをでっち上げる。	きょうへき
牝牡[驪黄]・光風[霽月] 玉兔[銀蟾]・環堵[蕭然]	月のこと。	ぎんせん
風声[鶴唳]・万寿[無疆] 無辺[無礙]・虚無[縹渺]	無辺際に広がっている風景の形容。	ひょうびょう
夏侯[拾芥]・魚網[鴻離] [得匣]還珠・[登音]空谷	求めていないものが得られるたとえ。	こうり
[唇亡]齒寒・秋風[冽冽] [魚爛]土崩・甘井[先竭]	内部から国家が潰乱するたとえ。	ぎょらん
按図[索驥]・曲突[徙薪] [蜀犬]吠日・騎驢[覓驢]	身近な道理を遠くに求める愚かさ。	べきろ
[玉蟾]金兔・[大羹]玄酒 玉石[同匱]・金塊[珠礫]	至上の贅沢を尽くすたとえ。	しゅれき
[華亭]鶴唳・[槿花]一朝 寸草[春暉]・[凋零]磨滅	束の間の栄華。	きんか
[深厲]淺揭・[逍遙]自在 [擒縱]自在・[洒掃]応対	自分の思うままに人を扱うこと。	きんしょう
狗吠[緇衣]・円顱[方趾] 遲疑[逡巡]・[敝衣]蓬髮	外見が変われば当然怪しむだろう。	しい
[宝篋]印塔・[甕牖]繩枢 偏袒[搯腕]・区聞[陬見]	偏狭な学識や経験。	すうけん
鳳凰[于飛]・君恩[海壑] [恍然]大悟・[九鼎]大呂	国主の深い恵みをたとえた語。	かいがく



[渾崙]吞棗・群蟻[附羶] [封豕]長蛇・奴顏[婢膝]	利益ある所に人々が集まるたとえ。	ふせん
玉肌[香膩]・[五蘊]皆空 鬱肉[漏脯]・[葦酒]山門	寺院における禁忌をいう。	くんしゅ
[荊棘]叢裏・甕裡[醜鷄] 孤影[孑然]・浮家[泛宅]	叛臣の家の形容。	けいきよく
妻子[眷族]・[瓊枝]玉葉 [轅門]二童・[蘭摧]玉折	皇族の子孫をいう。	けいし
外孫[齋白]・[三槐]九棘 [瓊枝]梅檀・[雪萼]霜葩	才徳の備わった人のたとえ。	けいし
[对牀]風雪・[輕佻]浮薄 傾側[偃仰]・[攀轅]臥轍	世の中の流れに任せて暮らす。	えんぎょう えんこう
[厥角]稽首・泥首[銜玉] 馬鹿[慙懃]・[恐惶]敬白	相手に対して最敬礼すること。	けっかく
滑稽[洒脱]・彫心[鏤骨] [断齋]画粥・月下[推敲]	練りに練って詩文を作ること。	すいこう
[前仆]後継・[前倨]後恭 懸崖[勒馬]・懸崖[撒手]	情欲に溺れる前に引き返すこと。	ろくば
[鬼臉]嚇人・[阮簡]曠達 [阮籍]青眼・[紫髯]緑眼	人柄が大らかなたとえ。	げんかん
[銅駝]荊棘・巖塞[要徼] [道揆]法守・鬱壘[神荼]	非常に堅固なとりで。	ようきょう
黑白[混淆]・[垂翅]奮翼 玄裳[縞衣]・跛行[喙息]	鶴の別称。	こうい
開天[闢地]・乾端[坤倪] 万寿[無疆]・[梓匠]輪輿	天地の果て。	こんげい
竜攘[虎搏]・干戈[控惚] 氣息[奄奄]・劍拔[弩張]	戦いが勃発しそうな緊迫した情勢。	どちょう

[玄圃]積玉・曲突[徙薪] [束帛]加璧・[妍姿]艷質	美しい文章のたとえ。	げんぼ
黄衣[廩食]・[尸禄]素餐 [稗官]野史・狗尾[続貂]	役人の宦官をいう。	りんしょく
[慷慨]憤激・[縷縷]綿綿 拳拳[服膺]・[心悸]昂進	世の不平不正などに怒り嘆くこと。	こうがい
[篝火]狐鳴・[驢鳴]犬吠 言行[齟齬]・[邑犬]群吠	不可思議なことで衆を惑わすこと。	こうか
[禍棗]災梨・[敲氷]求火 被髮[纓冠]・[膏火]自煎	自らの才能のために災いを招く。	こうか
合歡[綢繆]・[珠聯]璧合 家鷄[野雉]・[巫馬]戴星	男女が親しく愛し合うさま。	ちゅうびゆう
天真[爛漫]・剛毅[直諒] [誠惶]誠恐・[訥言]敏行	意志が強く、正直で誠実なこと。	ちよくりょう
[笙磬]同音・[敲金]擊石 [璞玉]渾金・嘲風[睥睨]	詩文や韻律の美しい声調のたとえ。	こうきん
玉兔[銀蟾]・光陰[如箭] [皓月]千里・[咫尺]万里	月の輝きが果てまで照り渡るさま。	こうげつ
[韜光]晦迹・為虎[傅翼] [鄭衛]桑間・[広廈]万間	貧しい人々を庇護すること。	こうか
高車[駟馬]・[枉駕]来臨 [輿馬]風馳・宮車[晏駕]	高貴な人の乗り物をいう。	しば
因循[苟且]・安閑[恬静] 苟且[偷安]・失魂[落魄]	将来を考えず一時の安楽に逃げる。	とうあん
[曠世]不羈・尊羹[鱸膾] [銜哀]致誠・[恫疑]虚喝	長く手懐けることができないこと。	こうせい
[銷鑠]縮粟・荒瘠[斥鹵] 形容[枯槁]・南郭[濫竽]	土地が荒れやせていること。	せきろ

[光芒]一閃・[廓然]大公 君恩[海壑]・[恍然]大悟	ふとした瞬間に閃きや悟りを得る。	こうぜん
高談[闊歩]・百折[不撓] [七嘴]八舌・[汲汲]忙忙	自由に議論して大股に歩くこと。	かつぽ
[洒掃]応対・[阮簡]曠達 [椿萱]並茂・[孝悌]忠信	真心を尽くして目上の人に仕えること。	こうてい
竹頭[木屑]・[狡兔]三窟 [杞人]天憂・懸崖[勒馬]	用心深いことのたとえ。	こうと
[对驢]撫琴・泣斬[馬謖] [膏火]自煎・[狡兔]良狗	傑物も活躍の機を失えば無用となる。	こうと
黄髮[垂髻]・頭童[齒豁] [尨眉]皓髮・白髮[青衫]	老人と子供のこと。	すいちよう
[雍也]論語・典謨[訓誥] 深文[巧詆]・洪範[九疇]	天下を治める大切な政治道德のこと。	きゆうちゆう
[敲氷]求火・洗垢[索瘢] 騎驢[覓驢]・[在邇]求遠	手法を誤ると目的は達せられない。	こうひよう
含英[咀華]・[咬文]嚼字 [馮異]大樹・[烏焉]魯魚	勿体ぶって文語を用い学を銜う。	こうぶん
[霹靂]閃電・崎嶇[坎軻] [騏驎]過隙・[光芒]一閃	瞬く間に事態が急変すること。	こうぼう
[毫釐]千里・[皎月]千里 [騏驎]過隙・[舳艫]千里	些細な違いが大きな誤りを齎す。	ごうり
[黄茅]白葦・[虎嘯]風生 [膏粱]子弟・[酒甕]飯囊	富貴の家に生まれた者。	こうりよう
[豺狼]当路・[蛟竜]毒蛇 耆婆[扁鵲]・異類[無礙]	奇怪で恐ろしいもののたとえ。	こうりよう こうりゆう
[垂涎]三尺・[濫竽]充数 後悔[噬臍]・[亢竜]有悔	栄耀を極めた者はより慎むべきだ。	こうりよう

[曠前]絶後・[五蘊]皆空 [哀矜]懲創・[桃花]癸水	現世のあらゆる事物に実体はない。	ごうん
披荊[斬棘]・[胡漢]陵轢 [瞋目]張胆・[夷蛮]戎狄	互いに反目し争うこと。	りょうれき
[隋珠]和璧・[冢中]枯骨 狐裘[羔袖]・[輕裘]肥馬	全体は立派だが一部に問題がある。	こうしゅう
馬鹿[慇懃]・[以蠡]測海 吳牛[喘月]・[驢鳴]牛吠	取り越し苦労をするたとえ。	ぜんげつ
[膏粱]子弟・[綢繆]牖戸 入朝[不趨]・[狐裘]蒙戎	貴人が執る国政の乱れていること。	こきゅう
枯魚[銜索]・[黝堊]丹漆 [朝齋]暮塩・[堯鼓]舜木	親が活着ているうちに孝行をせよ。	かんさく
家鷄[野鶩]・[登音]空谷 [譎詭]變幻・[啐啄]同時	またとない好機。	そったく
因果[覲面]・[落落]晨星 [枉駕]來臨・[宮車]晏駕	天子の崩御のたとえ。	あんが
[蕙苾]明珠・[鳳凰]銜書 [瓊枝]梅檀・[和羹]塩梅	すぐれた詩文のたとえ。	けいし
刻鵠[類鶩]・[咬文]嚼字 一字[褒貶]・[一筆]勾銷	文章の字面にばかりこだわること。	しゃくじ
被髮[佯狂]・[虎嘯]風生 [篝火]狐鳴・[曠世]不羈	豪傑が時機を得て奮起するたとえ。	こしょう
[寤寐]思服・[含飴]弄孫 [雕文]刻鏤・[得魚]忘筌	絶えず忘れないこと。	ごび
被髮[左衽]・[轍乱]旗靡 [渾渾]沌沌・[三豕]涉河	入り乱れて明らかでないさま。	こんこん
[蒟蒻]問答・[問鼎]輕重 [忘報]覲面・[驢鳴]犬吠	頓珍漢な受け答え。	こんにく

[驥服]塩車・怨女[曠夫] 彩鳳[随鴉]・為虎[傅翼]	女性が自分より劣る人に嫁ぐこと。	ずいあ
七種[菜羹]・桑田[滄海] [豚蹄]穰田・菜圃[麦隴]	水をたたえない農耕地。	ばくろう
鑿窓[啓牖]・[孤陋]寡聞 [婉娩]聽従・[恍然]大悟	進んで見識を広めようとする事。	けいゆう
[佩韋]佩弦・為山[止簣] 造次[顛沛]・[蹉跎]歲月	ただ漫然と時間を潰す。	さた
[三槐]九棘・[棣華]増映 干戚[羽旄]・[瓊枝]梅檀	政界の最高幹部。	さんかい
爬羅[剔抉]・[斟酌]折中 [蹈常]襲故・[慘憺]経営	思索を巡らせて計画すること。	さんたん
[攀轅]扣馬・[矯枉]過直 斬釘[截鉄]・[翦草]除根	毅然として決断するようす。	せつてつ
飛揚[跋扈]・[尸位]素餐 [侈衣]美食・流金[鑠石]	贅沢のたとえ。	しい
星火[燎原]・[四衢]八街 [風檣]陣馬・[駟介]旁旁	軍馬が牽く戦車が駆け巡る。	しかい
[三槐]九棘・[柳陌]花街 [駟介]旁旁・[四衢]八街	大通りの伸びる大市街。	しく
懲羹[吹膾]・桃弧[棘矢] [舐糠]及米・人跡[罕到]	被害が拡大すること。	しこう
附贅[懸疣]・玉石[同匱] [豕交]獸畜・[嗇夫]利口	礼をもって待遇しないたとえ。	しこう
[螳臂]当車・[擲果]満車 [驥服]塩車・[舐痔]得車	機嫌を取って利を得ることの揶揄。	しじ
[蕩佚]簡易・獅子[搏兔] 八面[六臂]・剽疾[輕悍]	安易なことでも力を尽くすべきだ。	はくと

詩人[蛻骨]・歌功[頌徳] [鬢糸]茶烟・[禍棗]災梨	名高い上質の茶をたたえる言葉。	ぜいこつ
[師曠]清耳・[齧指]痛心 [噬指]棄薪・死生[契闊]	努力して苦しむこと。	けっかつ けっかつ けいかつ
[截髮]易酒・兔起[鶻落] 疾言[遽色]・烏兔[匆匆]	落ち着かない態度をいう。	きよしよく
失魂[落魄]・驚心[動魄] [撼天]動地・醉眼[朦朧]	驚いて平静を失うこと。	らくはく
疾風[勁草]・[雲烟]飛動 天歩[艱難]・[狂瀾]怒濤	艱難に遭って初めて真価が分かる。	けいそう
[澆季]末世・[槿花]一朝 疾風[勁草]・疾風[怒濤]	時代が激しく変化するたとえ。	どとう
暴虎[馮河]・[砥柱]中流 [洒洒]落落・[秉燭]夜遊	さっぱりしていて執着しないさま。	しゃしゃ
風雨[対牀]・秋風[索寞] [屋梁]落月・[聚散]十春	仲間と別れて瞬く間に歳月が経った。	しゅうさん
[豕交]獸畜・[獸聚]鳥散 南轅[北轍]・南橘[北枳]	規律も統制もない群衆。	じゅうしゅう
鶴立[企佇]・[眇視]指使 仰觀[俯察]・袖手[旁觀]	自ら干渉せずただ眺めていること。	ぼうかん
[濯纓]濯足・[魯魚]陶陰 [聚散]十春・[酒甕]飯囊	歳月を無為に過ごす人を罵る言葉。	しゅおう
[蒹葭]玉樹・[珠襦]玉匣 [鼎鑪]玉石・[閻浮]檀金	美しいもののたとえ。	しゅじゅ
傾側[偃仰]・[菟糸]燕麦 墨痕[淋漓]・朱墨[爛然]	学問や研究に専念すること。	らんぜん
[酒甕]飯囊・[舐糠]及米 [朮羹]艾酒・[漿酒]霍肉	並外れた贅沢のたとえ。	しょうしゅ

[暈牀]架屋・蓋瓦[級甄] 一箭[双雕]・[敝帚]千金	無駄なことを繰り返すたとえ。	じょうしょう
朱墨[爛然]・[攘臂]疾言 疾言[遽色]・狂言[綺語]	得意なようすをいう。	じょうひ
採菓[汲水]・生滅[滅已] 天門[開闔]・万寿[無疆]	現世から超脱して仏果を得る。	めつい
[擒縱]自在・[逍遙]自在 醉歩[蹒跚]・[黜陟]幽明	世俗を離れて気儘に楽しむこと。	しょうよう
[肉袒]負荊・[逍遙]法外 [堯階]三尺・[紫髯]緑眼	科人が罰されず自由に生活している。	しょうよう
[霹靂]一声・風声[鶴唳] 騎驢[覓驢]・[蜀犬]吠日	無用の疑いを抱いて騒ぎ立てること。	しよくけん しよっけん
[蜀犬]吠日・[越臆]楚乙 [越俎]代庖・[諂佞]阿諛	賢者の言行を理解もせずに罵ること。	しよくけん しよっけん
枕経[藉書]・[宝篋]印塔 [七嘴]八舌・[嗇夫]利口	身分は低いが口達者なこと。	しよくふ
[黄粱]一炊・[膏粱]子弟 [持梁]齒肥・[晏嬰]脱粟	ご馳走を食べること。	じりょう
和氣[藹藹]・心広[体胖] [渾然]一体・[昭穆]倫序	心が穏やかなら体も落ち着いて見える。	たいはん
茅堵[蕭然]・[金甌]無欠 [緊禪]一番・深根[固柢]	物事の基礎を堅固にするたとえ。	こてい
生滅[滅已]・[晨星]落落 [杞人]天憂・廉頗[負荊]	友人が次第にいなくなっていくこと。	しんせい
塵飯[塗羹]・[彗汜]画塗 [琴棊]書画・家鷄[野雉]	実際には何の役にも立たないもの。	とこう
[影駭]響震・深根[固蒂] 心悸[亢進]・[振臂]一呼	自らを奮い立たせること。	しんぴ

[刮目]相待・[唇亡]齒寒 [晨星]落落・合歡[綢繆]	助け合って成り立つ間柄のたとえ。	しんぼう
[瞋目]張胆・披荊[斬棘] 秋風[凜冽]・[截断]衆流	大いに勇気を打ち振るうさま。	しんもく
[瓊楼]玉宇・[隋珠]和璧 連璧[賁臨]・吳市[吹簫]	無類の価値があるもののたとえ。	ずいしゅ
翠帳[紅閨]・三世[一爨] [隋珠]和璧・鳳凰[于飛]	貴婦人の寝室。	こうけい
頭童[齒豁]・[厥角]稽首 白髮[青衫]・[垂髻]戴白	幼児と老人。	すいちよう
海市[蜃楼]・[海闊]天空 水天[髣髴]・神仏[混淆]	遙か水平線の境目が一体に見えるさま。	ほうふつ
[鞭辟]近裏・[史籀]大篆 塵飯[塗羹]・[彗汜]画塗	きわめて容易なことのたとえ。	すいはん
拾遺[補闕]・吹毛[求疵] [在邇]求遠・按図[索驥]	殊更に人の欠点や過失を暴くこと。	きゅうし
吹毛[求疵]・[禽困]覆車 曾母[投杼]・危言[聳聽]	余計な行為が却って自らを貶める。	きゅうし
[垂髻]戴白・[恐懼]感激 [銜哀]致誠・[誠惶]誠恐	手紙などの結句に用いて敬意を表す。	せいこう
雲雨[巫山]・[噬指]棄薪 死生[契闊]・妻子[眷族]	母と子の気持ちが通じ合うこと。	ぜいし
詩人[蛻骨]・[金盞]銀台 魏紫[姚黄]・雪萼[霜葩]	梅の異名。	そうは
[柳巷]花街・[飛絮]流花 窃玉[偷香]・折花[攀柳]	遊里で芸者や遊女と遊ぶこと。	はんりゅう
[阿鞞]鞞地・懸崖[勒馬] [前倨]後恭・禍福[倚伏]	掌を返すように態度を変えて阿る。	ぜんきよ



千朶[万朶]・千緒[万縷] 千巖[万壑]・千荊[万棘]	数多くの障害や困難があること。	ばんきよく
先従[隗始]・蹇蹇[匪躬] 洪範[九疇]・[訥言]敏行	物事は言い出した者から実行せよ。	かいし
天罰[覲面]・[僭賞]濫刑 爬羅[剔抉]・[猿猴]取月	適正を欠いた賞罰。	せんしょう
千朶[万朶]・千緒[万縷] 千巖[万壑]・千荊[万棘]	多くの花が咲き乱れている形容。	ぼんだ
[毫釐]千里・上漏[旁風] [鑿齒]尺牘・千里[無烟]	民衆が貧困のきわみにあること。	むえん
[持梁]齒肥・菜圃[麦隴] 必求[壟断]・[賤斂]貴発	物価の安定を図る方法をいう。	せんれん
[草偃]風従・[卑躬]屈節 [羊裘]垂釣・君恩[海壑]	民衆は君主の仁徳に靡く。	そうえん
[走尸]行肉・[漿酒]霍肉 鬱肉[漏脯]・肉山[脯林]	役立たない者を貶している言葉。	そうし
千荊[万棘]・[漿酒]霍肉 [簇酒]斂衣・鑿窓[啓牖]	貧しい生活のたとえ。	そうしゆ
[晨夜]兼道・[走尸]行肉 塵飯[塗羹]・蚤寢[晏起]	赤子や幼児のようす。	あんき
曾母[投杼]・家鷄[野鷺] [草偃]風従・[鄒衍]降霜	嘘も重なると真実になるたとえ。	とうちよ
[偃鼠]飲河・[屍山]血河 人跡[罕到]・足音[蹶然]	珍しい来客を喜ぶ気持ちを表す言葉。	きょうぜん
[玄圃]積玉・[束帛]加璧 [珠聯]璧合・三徵[七辟]	最高の礼物。	そくはく
榮諧[伉儷]・西狩[獲麟] 束髮[封帛]・縞衣[綦巾]	妻が堅く貞操を守ること。	ふうはく

[麤枝]大葉・伯牙[絶絃] [旌旗]堂堂・[太羹]玄酒	小細工をせず鷹揚に筆を揮うこと。	そし
朱脣[皓齒]・束髮[封帛] [大衾]長枕・[輾轉]反側	兄弟の仲睦まじいことのたとえ。	たいきん
[顛委]勢峻・王楊[盧駱] [楚囚]南冠・大桀[小桀]	残虐な為政者。	しょうけつ
[麤枝]大葉・[太羹]玄酒 大海[撈針]・[垂涎]三尺	形式的で面白味のない文章。	たいこう
黛蓄[膏淳]・空谷[蹙然] 水天[髣髴]・[長汀]曲浦	水面が淀んでいて静かなさま。	こうてい
狐裘[蒙戎]・尊皇[攘夷] [鬼臉]嚇人・大貉[小貉]	野蛮な為政者。	しょうばく
[六鷁]退飛・[濯纓]濯足 大桀[小桀]・[束帛]加璧	治世には出仕し、乱世には隠棲する。	たくえい
多錢[善賈]・先從[隗始] [蕭敷]艾榮・蚤寢[晏起]	条件が整っていると事を成し易い。	ぜんこ
[恍恍]惚惚・[堯階]三尺 阿諛[苟合]・[煖衣]飽食	安楽な暮らし。	だんい
崎嶇[坎軻]・月下[推敲] [断齋]画粥・[尊羹]鱸膾	貧苦に耐えて勉強する。	だんせい
雲遊[萍寄]・百折[不撓] 談天[雕竜]・蛙鳴[蟬噪]	弁論の遠大高尚なことのたとえ。	ちょうりょう ちょうりゅう
[断齋]画粥・[断爛]朝報 [稗官]野史・瑣碎[細膩]	切れ切れで纏まりのない公報。	だんらん
[得隴]望蜀・[鏃礪]括羽 [一擲]千金・[探驪]獲珠	危険を冒して大きな利益を得る。	たんり
中樞[後勁]・[伏寇]在側 [越俎]代庖・大貉[小貉]	戦略、陣容ともに整っていること。	こうけい

危言[覈論]・浮花[浪蕊] 中樞[後勁]・仲連[蹈海]	高潔な節操をいう。	とうかい
[井渫]不食・仲連[蹈海] 衆口[鑠金]・[黜陟]幽明	正しい基準に則って人材を登用する。	ちゅつちよく
[楚材]晋用・張王[李趙] [槐門]棘路・蒼蠅[驥尾]	ありふれた平凡な人のたとえ。	りちよう
長頸[烏喙]・[燕頷]虎頸 醜惡[奸邪]・[恫疑]虚喝	忍耐強いが安楽を共にできない人相。	うかい
[朝齋]暮塩・朝耕[暮耘] 冒雨[剪韭]・[狐裘]蒙戎	非常に貧しいこと。	ちようせい
売官[鬻爵]・多錢[善賈] 国歩[艱難]・[糶糶]斂散	豊年凶年に応じて売買する経済政策。	ちようてき
[大輅]椎輪・老驥[伏櫪] 毛骨[悚然]・[樗櫟]散木	無用の人物のたとえ。	ちよれき
[樗櫟]散木・人生[羈旅] [低徊]趣味・潑墨[淋漓]	俗事を避け物事の興趣を綽々と味わう態度。	ていかい
[屍山]血河・空谷[蹙然] 水天[髣髴]・[淳膏]湛碧	水面が澄み切って青々としたさま。	ていこう
[喙長]三尺・[誠惶]誠恐 [恐惶]敬白・泥首[銜玉]	謝罪降伏するときの儀礼。	かんぎよく
[珠襦]玉匣・[賤斂]貴発 [鼎鑪]玉石・瑤林[瓊樹]	奢侈の甚だしい形容。	ていそう ていとう
轍乱[旗靡]・[渾渾]沌沌 [車胤]聚螢・兵馬[恹恹]	軍が敗れ潰えているさま。	きび
開天[闢地]・仰天[不愧] 天宇[地廬]・[梓匠]輪輿	この世。	ちろ
轍乱[旗靡]・天顔[咫尺] [鸞翔]鳳集・天宇[地廬]	天皇の側近くに伺候する。	しせき

[夏鑪]冬扇・冬温[夏清] [六菖]十菊・[聚散]十春	子が両親に尽くすべき心掛け。	かせい
[断爛]朝報・麟角[鳳嘴] 禹行[舜趨]・[騰蛟]起鳳	素晴らしい才華のたとえ。	とうこう
亮遺[巾幗]・桃弧[棘矢] 百孔[千瘡]・[封豕]長蛇	災いを取り除くこと。	きよくし
亮遺[巾幗]・[蹈常]襲故 中樞[後勁]・仲連[蹈海]	従来 of 習慣やきまりを守ること。	とうじょう
[顛委]勢峻・桃傷[李仆] [騰蛟]起鳳・荊棘[銅駝]	兄弟が互いに反目し、相争うこと。	りふ
[蹈節]死義・[彦倫]鶴怨 自己[韜晦]・泥首[銜玉]	節操を守り、義に殉じること。	とうせつ
摩頂[放踵]・枕冷[衾寒] [同袍]同沢・[八紘]一字	苦勞を分かち合う親密な友人。	どうほう
兔起[鳧拳]・筆力[扛鼎] 肥馬[輕裘]・[巫馬]戴星	すばやいことのたとえ。	ふきよ
[蠹居]棊処・[騰蛟]起鳳 [螳臂]当車・[四衢]八街	悪しき物事の散らばっているさま。	ときよ
得魚[忘筌]・[貪小]失大 [含飴]弄孫・桃傷[李仆]	恩知らずのたとえ。	ぼうせん
独立[不羈]・独学[孤陋] [鰥寡]孤独・[以杞]包瓜	他と係わらず自己の所信で事に処する。	ふき
明察[秋毫]・虚融[澹泊] [敲氷]求火・[菟糸]燕麦	有名無実のたとえ。	とし
[敲金]擊石・[咄咄]怪事 拳拳[服膺]・突怒[偃蹇]	人の傲り、怒りのさまのたとえ。	えんけん
[膏火]自煎・斗量[帚掃] [円顛]方趾・無辺[無礙]	平凡で取り柄がないという謙遜。	そうそう

[肉袒]牽羊・轍乱[旗靡] 抱関[擊柝]・毛骨[悚然]	降伏し臣僕となることを請願する。	にくたん
悽愴[流涕]・慧可[断臂] [驕兵]必敗・肉袒[負荊]	真心からの謝罪をするたとえ。	ふけい
[晨去]暮来・倍日[并行] 肉袒[牽羊]・[訥言]敏行	昼夜を徹して事を急ぐこと。	へいこう
醜惡[奸邪]・[姪虐]暴戾 悖入[悖出]・[于公]高門	非道な醜行はそれ相応の報いがある。	はいしゅつ
波詭[雲譎]・四六[駢儷] 深文[巧詆]・[彗汜]画塗	文章が自在で非常に巧妙なこと。	うんけつ
黄衣[廩食]・[伯俞]泣杖 [尨眉]皓髮・[鬼哭]啾啾	母親の老衰に気付いて嘆くこと。	はくゆ
歡喜[扑舞]・倍日[并行] 浮雲[翳日]・[撥雲]見日	不安が解消され先行きに希望が持てること。	はつうん
[低徊]趣味・[撥雲]見日 [跋山]涉水・天歩[艱難]	険しい陸路の旅に行く。	ぼつざん
以鼠[為璞]・[矯枉]過正 [槃根]錯節・[撥乱]反正	戦乱を平らげ、治世に返す。	はつらん
局天[踳地]・[跛立]箕坐 [祗管]打坐・結跏[趺坐]	無礼のかたちをいう。	はりゅう
為虎[傅翼]・[攀竜]附驥 烈士[徇名]・[阿諛]追従	英明な人物に仕えて功名を立てる。	はんりょう はんりゅう
[攀轅]臥轍・[攀竜]附鳳 折花[攀柳]・攀轅[扣馬]	権力者に追従して手柄を立てる。	はんりょう はんりゅう
[妍姿]艶質・蛾眉[皓齒] [眇視]指使・[媚眼]秋波	美人の艶めかしい色目や流し目。	びがん
[兢兢]業業・[媚眼]秋波 [慙慙]尾籠・[卑躬]屈節	操を曲げて人に媚び諂うさま。	ひきゅう

<p>狗尾[統貂]・比肩[随踵] [脣齒]輔車・摩頂[放踵]</p>	<p>後から後から続いて絶えないさま。</p>	<p>ずいしょう</p>
<p>[飛絮]漂花・窃玉[偷香] [顛沛]流浪・桃花[癸水]</p>	<p>当て所もなく辛苦する女性のたとえ。</p>	<p>ひじょ</p>
<p>簇酒[斂衣]・肥馬[輕裘] 狐裘[羔袖]・篳路[藍縷]</p>	<p>高貴で富裕なこと。</p>	<p>けいきゅう</p>
<p>円頂[緇衣]・被髮[左衽] 夷蛮[戎狄]・被髮[纓冠]</p>	<p>蛮習をいう。</p>	<p>さじん</p>
<p>百孔[千瘡]・百様[玲瓏] 百骸[九竅]・一髮[千鈞]</p>	<p>短所や欠点が数多くあること。</p>	<p>せんそう</p>
<p>零絹[尺楮]・孫楚[漱石] [氷甌]雪椀・[潑墨]淋漓</p>	<p>清雅な文具。</p>	<p>ひょうおう</p>
<p>[趨炎]附熱・夜雨[对牀] [垂涎]三尺・病入[膏肓]</p>	<p>趣味や道楽にのめり込むたとえ。</p>	<p>こうこう</p>
<p>瘦身[矮軀]・氷甌[雪椀] 粗衣[糲食]・[馮異]大樹</p>	<p>謙虚で慎ましい人のたとえ。</p>	<p>ふうい</p>
<p>[牽攀]乖隔・風雨[对牀] 風雨[淒淒]・左提[右挈]</p>	<p>兄弟相会する。</p>	<p>たいしょう</p>
<p>[对牀]風雪・[三疊]三浴 霧鬢[風鬢]・風鬢[雨鬢]</p>	<p>苦勞して勤しむこと。</p>	<p>うびん</p>
<p>風岸[孤峭]・燕頷[虎頸] 偷合[苟容]・蜂目[豺声]</p>	<p>性情鋭くして人と和合せず。</p>	<p>こしょう</p>
<p>[早天]慈雨・[在邇]求遠 [敲氷]求火・騎驢[覓驢]</p>	<p>見当違いの無理な望み。</p>	<p>こうひょう</p>
<p>奉頭[鼠竄]・往事[渺茫] 浮雲[翳日]・[撥雲]見日</p>	<p>悪人の政治で世が暗くなるたとえ。</p>	<p>えいじつ</p>
<p>中樞[後勁]・破戒[無慙] [寤寐]思服・[伏寇]在側</p>	<p>常に用心深くあるべきだという戒め。</p>	<p>ふくこう</p>

群蟻[附羶]・[豕交]獸畜 附贅[懸疣]・[蜿蜒]長蛇	無用の長物のたとえ。	けんゆう
[不埒]千万・附贅[懸疣] 浮雲[翳日]・剽疾[輕悍]	非常にけしからぬこと。	ふらち
蚊子[咬牛]・[老蚌]生珠 [鷄尸]牛徙・[探驪]獲珠	自分の実力を弁えずに行動する。	こうぎゆう
榮諧[伉儷]・天宇[地廬] 允文[允武]・[文恬]武嬉	天下の太平であることを表す語。	ぶんてん
[兵戈]槍攘・荒瘠[斥鹵] 倒載[干戈]・[牛溲]馬勃	兵乱の形容。	へいか
失魂[落魄]・瓶墜[簪折] [飛絮]漂花・怨女[曠夫]	男女が離れて二度と会い得ない。	しんせつ
敲金[戛玉]・班女[辞輦] [鞭辟]近裏・[邯鄲]学歩	深く分析し、核心に達している。	べんぺき
[鞭辟]近裏・[鯉魚]尺素 亦歩[亦趨]・山木[自寇]	知識や学問が深く精密なことの形容。	べんぺき
[大輅]椎輪・[駢拇]枝指 一糸[一毫]・[掉棒]打星	役に立たないもののたとえ。	へんぼ べんぼ
翠帳[紅閨]・[宝釧]玉釵 君恩[海壑]・鳳凰[于飛]	愛情深い夫婦のたとえ。	うひ
抱閨[擊柝]・宵衣[旰食] 肉袒[負荊]・[肉袒]牽羊	下級の役人。	げきたく
[同袍]同沢・抱閨[擊柝] 判官[最屬]・[于公]高門	弱者や薄幸の者に同情心を持つこと。	びいき ひいき
足音[蹙然]・[飄忽]震蕩 一旦[豁然]・茅堵[蕭然]	田舎家の物寂しいさま。	しょうぜん
蓬戸[甕牖]・[尨眉]皓髮 黄髮[垂髻]・[朱脣]皓齒	年老いた形容。	ぼうび

眼光[炯炯]・陰謀[詭計] 風岸[孤峭]・蜂目[豺声]	凶悪で冷酷な人のこと。	さいせい
鳳友[鸞交]・桑土[綢繆] 瓶墜[簪折]・[大衾]長枕	男女間の情事、交接のたとえ。	らんこう
澆季[溷濁]・[匍匐]膝行 [跛立]箕坐・宮車[晏駕]	高貴な人の前へ進み出る時の姿勢。	ほふく
[曼理]皓齒・[龐眉]皓髮 炊金[饌玉]・[璞玉]渾金	美人のこと。	まんり
[春蚓]秋蛇・無根[無蒂] [無慙]無愧・無辺[無礙]	拠り所が一つもない。	むてい
無病[呻吟]・非難[囂囂] 偏袒[扼腕]・流言[蜚語]	事実なくして妄りに苦痛を訴える。	しんぎん
仰觀[俯察]・明察[秋毫] 博識[洽聞]・甕裡[醢鷄]	些細なことでも明確に見抜く。	しゅうごう
[氷甌]雪椀・[潑墨]淋漓 八面[玲瓏]・明窓[淨几]	きれいに整頓された書齋。	じょうき
彫心[鏤骨]・明窓[淨几] [霑体]塗足・沐浴[抒溷]	自身を清め、汚れを取り払う。	じよこん
[蓴羹]鱸膾・煮豆[燃萁] 夜雨[对牀]・桃傷[李仆]	兄弟や友人の間柄が親密なこと。	たいしょう
[瞠目]結舌・千朶[万朶] 一挙[双擒]・[游雲]驚竜	巧妙なる書の形容。	ゆううん
[卑躬]屈節・韜光[晦迹] 風岸[孤峭]・[羊裘]垂釣	隠者の形容。	ようきゆう
[金齋]玉脍・附贅[懸疣] 雷陳[膠漆]・[攀轅]臥轍	友誼のきわめて厚いこと。	こうしつ
落花[狼藉]・糶糶[斂散] 百花[繚乱]・[頽墮]委靡	物が乱雑に散らばっているさま。	ろうぜき



典謨[訓誥]・[五蘊]皆空 [奸智]術数・[六韜]三略	兵法などの極意。	りくとう
曲突[徙薪]・[竜驤]麟振 満目[蕭条]・明察[秋毫]	威勢や勢力の盛んなたとえ。	りょうじょう りゅうじょう
竜頭[鷓首]・[嘯風]弄月 宮車[晏駕]・[舳舻]千里	貴人の御座船。	げきしゅ げきす
[大輅]椎輪・竜頭[鷓首] 麟角[鳳嘴]・大海[撈針]	きわめて稀なもののたとえ。	ほうし
蕭敷[艾榮]・[黝聖]丹漆 八面[玲瓏]・[輪奐]一新	建物が新しくなり、壮大で立派になること。	りんかん
[輪奐]一新・[琳琅]珠玉 [笙磬]同音・麟角[鳳嘴]	秀でた人材や美しい詩文のたとえ。	りんろう
[椿萱]並茂・満目[蕭条] [拈華]微笑・[琳琅]満目	素晴らしいものが満ち溢れる。	りんろう
烈士[徇名]・蒼蠅[驥尾] 貪夫[徇財]・[晏嬰]狐裘	義士は名誉のために命を擲つ。	じゅんめい
[枉駕]来臨・筆門[閨竇] [轅門]二竜・連壁[賁臨]	二人の御客がいらっしゃる。	ひりん
[和羹]塩梅・[瓊枝]梅檀 韓信[匍匐]・[六韜]三略	君主を補佐する有能な宰相。	わこう
[六菖]十菊・冬温[夏清] [磴風]春雨・造次[顛沛]	時機に遅れて役に立たないたとえ。	りくしょう ろくしょう
[蜀犬]吠日・兎死[狗烹] [惹苴]明珠・[李下]瓜田	人に疑われるような行動は慎むべきだ。	りか
[崑山]片玉・[藍田]生玉 [珠襦]玉匣・[玄圃]積玉	名門に優れた子弟が出るたとえ。	らんでん
筆削[褒貶]・落花[狼藉] [六菖]十菊・落筆[点蠅]	画家の妙技をいう。	てんよう

[李下]瓜田・倚門[倚閭] 落月[屋梁]・風雨[对牀]	友人を思う情が切なこと。	おくりょう
[晏嬰]狐裘・夙興[夜寐] [煖衣]飽食・売官[鬻爵]	きわめて節儉なこと。	あんえい
[蹉跎]白髪・衣錦[尚絅] [佩章]佩弦・[翹足]引領	自分の性格の改善に努めること。	はいい
[蹉跎]白髪・阿諛[苟合] 折衝[樽俎]・[煖衣]飽食	人に気に入られようと媚び諂うこと。	こうごう
[咫尺]万里・一牛[吼地] 風岸[孤峭]・[禾黍]油油	非常に距離が近いこと。	こうち
[頹墮]委靡・[九仞]一簣 [魚爛]土崩・宗廟[丘墟]	長い間の努力が最後の過失で台無しになる。	きゅうじん
倚門[倚閭]・寸草[春暉] [齧指]痛心・唐明[友悌]	子の帰りを待ち侘びる母の情。	いりよ
[大壑]拐然・[一邱]一壑 [賤斂]貴出・[偃鼠]飲河	人は分に応じて満足するのが良い。	えんそ
[枉尺]直尋・得魚[忘筌] 綢繆[牖戸]・[貪小]失大	小さな利益に執着して大損をすること。	たんしょう
[偏旁]冠脚・[三豕]金根 商山[四皓]・[糶糶]斂散	文字の誤り。	さんし
鬱肉[漏脯]・[行尸]走肉 [葷酒]山門・羊頭[馬脯]	先の危険を顧みない。	ろうほ
陶朱[猗頓]・[鄒魯]遺風 魏紫[姚黄]・[禹湯]文武	古代中国の明君をいう。	うとう
[雨霖]鈴曲・伯牙[絶絃] 緩歌[縵舞]・[对驢]撫琴	楊貴妃の死を悼んで作った楽曲をいう。	うりん
攀竜[附驥]・[轅門]二竜 [狡兔]良狗・[燉煌]五竜	すぐれた戦功を評する言葉。	えんもん

王楊[盧駱]・[鄒魯]遺風 詩人[蛻骨]・[轅門]二童	近体詩の確立に貢献した詩の巨匠。	ろらく
[昼牀]架屋・[宝篋]印塔 蓋瓦[級輒]・茅屋[采椽]	屋根瓦と、階段の敷き瓦のこと。	きゅうせん
連璧[賁臨]・[撲朔]謎離 [顛委]勢峻・[夏癸]殷辛	古代の暴君をいう。	かき
頭会[箕斂]・[口誅]筆伐 [偃鼠]飲河・[膏火]自煎	租税をたくさん取り立てること。	きれん
[蠅頭]細書・[夸父]逐日 枕経[藉書]・[鑿壁]読書	読書にふけることをいう。	しゃしょ
窮途[潦倒]・懸河[瀉水] 匡衡[壁鑿]・忙裡[偷閑]	苦学することのたとえ。	へきさく
枕経[藉書]・潑墨[淋漓] [蹈節]死義・[彦倫]鶴怨	節義を変えることを非難した言葉。	げんりん
枝葉[碩茂]・[一杖]一鉢 黄髮[番番]・[蜂準]長目	老大家。	はは
[瞻前]顧後・[維摩]一默 腹心[内爛]・昂首[闊歩]	事を処するに周密なこと。	せんぜん
塵飯[塗羹]・[囊蚩]映雪 [甑塵]釜魚・[三豕]渡河	非常に貧しいことのたとえ。	そうじん
許由[巢父]・泉石[膏肓] 家鷄[野鶩]・[孔翊]絶書	古いものを嫌い新しいものを好む。	やぼく
[鑿齒]尺牘・零絹[尺楮] [七嘴]八舌・[風檣]陣馬	手紙で議論することに優れていた。	さくし
束髮[封帛]・西狩[獲麟] [阮簡]曠達・[紫髯]緑眼	西方の異民族の容貌をいう言葉。	しぜん
商山[四皓]・雪萼[霜葩] [瀟湘]八景・[鄒魯]遺風	風光絶佳の地。	しょうしょう

[齊桓]晋文・[崔李]蘇杜 [焉哉]乎也・四六[駢儷]	古代に盛行した華美な文体。	べんれい
風雨[淒淒]・[鄒衍]降霜 秋風[冽冽]・水天[髣髴]	冤罪を天に訴えそれを天が応えた。	すうえん
重熙[累洽]・[波濤]万里 枕石[漱流]・[顛委]勢峻	水源から河口までの流れが激しい。	てんい
[麤枝]大葉・千巖[万壑] 河山[帶厲]・[顛撲]不破	動かざる学説や結論などにいう。	てんぼく
[五蘊]皆空・心広[体胖] 宝鈿[玉釵]・桃花[癸水]	女性の月経をいう。	きすい
[倚馬]七紙・[鑿齒]尺牘 四絃[一撥]・零絹[尺楮]	書画の小片。	せきちよ
[甌塵]釜魚・[啐啄]同時 [蘭艾]同焚・[藍田]生玉	良いものも悪いものも滅びる。	らんがい
香氣[馥郁]・蘭薰[桂馥] [蘭艾]同焚・期期[艾艾]	子孫が繁栄することのたとえ。	けいふく
無根[無蒂]・羊頭[馬脯] 鬱肉[漏脯]・箠門[閨竇]	見せかけは立派でも実質が伴わないこと。	ばほ
羊頭[馬脯]・鬱肉[漏脯] [箠路]藍縷・箠門[閨竇]	貧乏人の住居。	けいとう